

# 令和8年6月定例教育委員会議事日程

日時 令和8年6月4日(木)

午後3時開議

場所 市川市役所第2庁舎 大会議室1

- 1 開会
- 2 会議成立の宣言
- 3 議事日程の決定
- 4 議案第13号 市川市教育振興審議会への諮問について  
議案第14号 市川市文化財保護審議会委員の委嘱について  
議案第15号 市川市立小学校、中学校及び義務教育学校通学区域審議会委員の解嘱及び委嘱について
- 5 報告第10号 令和8年度市川市一般会計補正予算(第2号)(うち教育に関する事務に係る部分)に関する臨時代理の報告について  
報告第11号 教育委員会から教育長に委任された事務の管理及び執行の状況の報告について  
報告第12号 市川市立学校園の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画の策定に関する臨時代理の報告について  
報告第13号 令和8年度教科用図書葛南西部採択地区協議会委員の推薦に関する臨時代理の報告について
- 6 その他
- 7 閉会

## 令和8年6月定例教育委員会提出議案

報告第11号 教育委員会から教育長に委任された事務の管理及び 執行の状況の報告について・・・・・・・・・・・・・・・・	教育政策課 1 別冊1
--	----------------

議案第13号 市川市教育振興審議会への諮問について・・・・・・・・	教育政策課 3
-----------------------------------	---------

議案第14号 市川市文化財保護審議会委員の委嘱について・・・	文化財課 5
--------------------------------	--------

議案第15号 市川市立小学校、中学校及び義務教育学校通学区域 審議会委員の解嘱及び委嘱について・・・・・・・・	義務教育企画課 7
--	-----------

報告第10号 令和8年度市川市一般会計補正予算（第2号）（う ち教育に関する事務に係る部分）に関する臨時代理 の報告について・・・・・・・・・・・・・・・・	教育総務課 11
--	----------

報告第12号 市川市立学校園の教育職員に関する業務量管理・健 康確保措置実施計画の策定に関する臨時代理の報告 について・・・・・・・・・・・・・・・・	学校運営支援課 15
---	------------

その他（1）令和8年度における教科書展示会について・・・・・・・・	指導課 25
-----------------------------------	--------

報告第13号 令和8年度教科用図書葛南西部採択地区協議会委員 の推薦に関する臨時代理の報告について・・・・・・・・	指導課 別冊2
--	------------

報告第 1 1 号

教育委員会から教育長に委任された事務の管理及び執行の状況の  
報告について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 2 5 条第 3 項並びに市川市教育委員会教育長に対する事務の委任等に関する規則第 1 条第 2 項及び第 3 項の規定に基づき、同条第 1 項の規定により教育委員会から委任された事務のうち市川市教育振興基本計画（第 4 期）に基づく令和 7 年度の教育に関する事務の管理及び執行の状況について、教育委員会点検・評価報告書（案）記載の点検結果のとおり報告する。

令和 8 年 6 月 4 日提出

市川市教育委員会

教育長 高木 秀人

**▶ 施策1 幼児期における教育の推進**

幼児の発達に応じた遊びや生活を通して、健康な心と体、人と関わる力を育てます。また、自発的に周囲の様々な環境に関わり、好奇心や探究心を持ち感じたことや考えたことを言葉で表現し、生涯にわたる人格形成の基礎を培う幼児教育を進めます。

さらに、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を家庭・小学校・地域と共有するとともに、関係部署等と連携し、家庭への支援や地域資源の活用を進めることにより、幼児教育の質を高めます。

あわせて、幼児期の教育から小学校教育へのなめらかな接続を図ります。

施策の評価	順 調
-------	-----

《評 点》

事業の評価	成果指標の評価	施策の評価
良好 3項目 要検討 0項目	達成 4項目 未達成 0項目	順 調
5点 3/3(100%)	5点 4/4(100%)	10点

評価に対する留意事項

見直し①  
必要に応じて委員の意見を反映し、今後の教育施策の方向性が明確になるように記述する。

【意見聴取の観点】

- ・施策と高い関連性がある指標（見直し④）に対するコメント
- ・国の動向などを踏まえ、今後重要となる施策などに係るコメント
- ・その他 施策全般について

《評価の詳細》

【事業(活動指標)の評価】

事業名：創意と活力のある学校づくり事業

活動指標	目標	R7実績	評価
創意と活力のある学校づくりを進めている校長園長の割合	100%	100%	良好
取組の実績 各校長・園長が推進計画書を作成し、10月に進捗状況を確認する面接を実施し、3月に報告書を提出することを通して、各学校・各園における創意と活力のある学校づくりを推進しました。また、各学校・各園へ研究推進のための講師謝礼金を配当し、研究を推進しました。			

事業名：幼稚園教諭と保育士との交流

活動指標	目標	R7実績	評価
研修会の実施回数	10回	11回	良好
取組の実績 公立幼稚園に公立保育園の職員が園内研修会や実地研修に参加しました。また、幼稚園の保育の様子を参観し、研究会に参加したり、実際に保育を経験したりすることで、保育園と幼稚園の保育の違いや、幼児への声掛け、配慮の具体的な対応を知るきっかけとなり、保育の質の向上につながりました。			

事業名：幼児教育推進事業

活動指標	目標	R7実績	評価
幼稚園を巡回し、指導助言した回数 ①公立幼稚園 ②私立幼稚園	①60回 ②120回	①64回 ②120回	良好
取組の実績 公立・私立幼稚園に幼児教育相談員が巡回を行い、配慮を要する幼児への対応を具体的に指導することで、幼児教育を推進しました。保護者への相談も受けてお			

見直し③  
最終年度の目標値に照らし評価を行う

【成果指標の評価】

NO.	指標の内容	指標の対象	実績値					第4期 目標値 (達成率)	評価	出典 (調査名等)
			R6	R7	R8	R9	R10			
1	「おさんは、遊びや生活の中でできるようになったことを使い、新しい考えを持ちたり、新たなことに挑戦したりしている」と回答する保護者の割合	保護者 (幼稚園)	95%	96%				100% (96%)	達成	保
2	「幼稚園は子ども一人ひとりに応じた丁寧な援助や指導を行っている」と回答する保護者の割合	保護者 (幼稚園)	99%	98%				100% (98%)	達成	保
3	「おさんは、誰とでも優しく関わっている」と回答する保護者の割合	保護者 (幼稚園)	93%	94%				95% (99%)	達成	保
4	「おさんは、食事のマナー・着替え・うがい・手洗い等基本的な生活習慣が身に付いている」と回答する保護者の割合	保護者 (幼稚園)	93%	95%				98% (97%)	達成	保

【参考】

NO.	指標の内容	指標の対象	実績値					出典 (調査名等)
			R6	R7	R8	R9	R10	
1	アプローチカリキュラム・スタートカリキュラム <sup>※2</sup> の実施・活用状況	幼稚園 保育園 (公立)	100%	100%				アプローチカリキュラム実施調査アンケート(指) ※但し、幼稚園・保育園等(私立)は任意回答(R7回答率27.9%)
		幼稚園 保育園等 (私立)	—	100%				
		小学校	89%	82%				スタートカリキュラム実施調査アンケート(指)
16 新規	「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」に向けて、関係機関等と連携しながら幼児教育を進めていると回答する幼稚園教職員の割合	教職員 (幼稚園)	—	97%				独自アンケート(政)

見直し④  
成果指標に、施策目標と高い関連性がある指標の設定がない場合は、新たに設定し、参考評価として追加

議案第 13 号

市川市教育振興審議会への諮問について

別紙のとおり、市川市教育振興審議会に諮問することについて、教育委員会の議決を求める。

令和 8 年 6 月 4 日提出

市川市教育委員会

教育長 高木 秀人

理 由

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条第 1 項の規定に基づく令和 7 年度の教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価を行うに当たり、同条第 2 項の規定に基づき、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るため、当該点検及び評価について市川市教育振興審議会の意見を求める必要がある。

これが、この議案を提出する理由である。

令和 8 年 月 日

市川市教育振興審議会  
会長 様

市川市教育委員会  
教育長 高木 秀人

令和 7 年度の教育委員会の権限に属する事務の管理及び  
執行の状況についての点検及び評価について（諮問）

市川市教育振興審議会条例第 2 条第 2 号の規定に基づき、下記の事項につ  
いて、貴審議会の意見を求めます。

#### 記

##### 1 諮問事項

令和 7 年度の教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況  
についての点検及び評価について

##### 2 諮問理由

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律第 162  
号）第 26 条第 1 項の規定に基づく令和 7 年度の教育委員会の権限に属  
する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価を行うに当た  
り、同条第 2 項の規定に基づき、教育委員会が実施した当該点検及び評  
価（別添諮問資料）について、貴審議会の意見を求めるものです。

議案第 14 号

市川市文化財保護審議会委員の委嘱について

市川市文化財保護審議会委員を委嘱したいので、教育委員会の議決を求める。

令和 8 年 6 月 4 日提出

市川市教育委員会

教育長 高木 秀人

理 由

本年 6 月 6 日をもって任期満了となる委員について、市川市文化財保護条例第 47 条第 1 項の規定に基づき、委員を委嘱する必要がある。

これが、この議案を提出する理由である。

市川市文化財保護審議会 委嘱委員一覧

(任期：令和8年6月7日～令和10年6月6日)

区分	氏名	所属・役職名 等	初委嘱年月日
学識経験者	てらお えいち 寺尾 英智	立正大学 仏教学部教授	平成28年6月7日
	かんの ようすけ 菅野 洋介	駒澤大学 文学部准教授	平成30年6月7日
	ほりこし まさゆき 堀越 正行	元市川考古博物館 館長	令和2年6月7日
	さらい まい 皿井 舞	学習院大学 文学部教授	令和4年6月7日
	なかむら ゆういち 中村 雄一	一級建築士	令和4年6月7日
	やまだ しゅんすけ 山田 俊輔	千葉大学 文学部教授	令和4年6月7日
	えのき みか 榎 美香	東京文化財研究所客員研究員	令和6年6月7日
	にとう あつし 仁藤 敦史	国立歴史民俗博物館名誉教授	令和8年6月7日

議案第 15 号

市川市立小学校、中学校及び義務教育学校通学区域審議会委員の  
解嘱及び委嘱について

市川市立小学校、中学校及び義務教育学校通学区域審議会委員の解嘱及び委  
嘱をしたいので、教育委員会の議決を求める。

令和 8 年 6 月 4 日提出

市川市教育委員会

教育長 高木 秀人

理 由

辞任願を提出した委員を解嘱するとともに、市川市立小学校、中学校及び  
義務教育学校通学区域審議会条例第 4 条第 1 項の規定に基づき、新たに委員  
を委嘱する必要がある。

これが、この議案を提出する理由である。

市川市立小学校、中学校及び義務教育学校通学区域審議会 解嘱委員・委嘱委員 一覧

解嘱委員

区 分	氏 名	所属・役職名 等	解 嘱 年 月 日
第2号委員 (学識経験のある者)	たかはし まさよ 高橋 昌代	市川南大洲地区民生委員 児童委員協議会 会長	令和8年6月4日
第3号委員 (市川市立の小学 校、中学校又は義務 教育学校の校長)	かねだ たけし 金田 剛	市川市立下貝塚中学校 校長	令和8年6月4日
第4号委員 (市長部局の職員)	とえだ ひでゆき 戸枝 秀行	道路交通部 次長	令和8年6月4日

委嘱委員

区 分	氏 名	所属・役職名 等	委 嘱 年 月 日
第2号委員 (学識経験のある者)	ますだ なおこ 増田 直子	南行徳中部地区民生委員 児童委員協議会 会長	令和8年6月5日 新任
第3号委員 (市川市立の小学 校、中学校又は義務 教育学校の校長)	やまざき みなこ 山崎 美奈子	市川市立東国分中学校 校長	令和8年6月5日 新任
第4号委員 (市長部局の職員)	たかいし なおゆき 高石 直之	道路交通部 次長	令和8年6月5日 新任

市川市立小学校、中学校及び義務教育学校通学区域審議会 委嘱委員 一覧  
 (任期：令和7年7月6日～令和9年7月5日)

区分	氏名	所属・役職名等	初委嘱年月日
第1号委員	いしはら 石原 たかゆき	市川市議会議員	令和元年7月4日
	おやまだ 小山田 なおと	市川市議会議員	令和7年7月6日
第2号委員	ますだ さだゆき 増田 貞幸	市川市子ども会育成会連絡協議会 副会長	令和3年7月4日
	ますだ なおこ 増田 直子	南行徳中部地区民生委員 児童委員協議会 会長	令和8年6月5日 新任
	いしい ともこ 石井 智子	市川市PTA連絡協議会 理事	令和7年7月6日
	こばやし としゆき 小林 俊之	市川市自治会連合協議会 会長	令和4年10月7日
	たかはし だいさく 高橋 大策	市川市青少年相談員連絡協議会 副会長	令和元年7月4日
	かわべ じゆん 河部 純	社会福祉法人 市川市社会福祉協議会 保育クラブ担当室 室長	令和7年7月6日
第3号委員	やまざき みなこ 山崎 美奈子	市川市立東国分中学校 校長	令和8年6月5日 新任
	まつもと けいすけ 松本 啓祐	市川市立若宮小学校 校長	令和7年7月6日
第4号委員	たかいし なおゆき 高石 直之	道路交通部 次長	令和8年6月5日 新任
	くさの かおる 草野 薫	街づくり部 街づくり計画課 課長	令和7年7月6日



報告第10号

令和8年度市川市一般会計補正予算（第2号）（うち教育に関する事務に係る部分）に関する臨時代理の報告について

市川市教育委員会教育長に対する事務の委任等に関する規則第2条第1項の規定により令和8年5月25日に別紙のとおり臨時に代理したので、同条第2項の規定によりこれを報告する。

令和8年6月4日提出

市川市教育委員会

教育長 高木 秀人

市川第 20260521-0266 号  
令和 8 年 5 月 2 5 日

市川市長 田中 甲 様

市川市教育委員会  
教育長 高木 秀人



議案の作成に係る意見聴取について（回答）

令和 8 年 5 月 2 1 日付け、市川第 20260521-0088 号にて意見を求められた下記の市議会提出議案について、異議はありません。

記

提出議案

令和 8 年度市川市一般会計補正予算（第 2 号）（うち教育に関する事務に係る部分）

令和 8 年 5 月 2 1 日

市川市教育委員会

教育長 高木 秀人 様

市川市長 田 中 甲



議案の作成に係る意見聴取について

令和 8 年 6 月市川市議会定例会に提出する議案について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 2 9 条の規定に基づき、下記議案の作成について貴教育委員会の意見を求めます。

記

提出議案

令和 8 年度市川市一般会計補正予算（第 2 号）（うち教育に関する事務に係る部分）

令和8年度市川市一般会計補正予算(第2号)(うち教育に関する事務に係る部分)

1. 歳入歳出予算補正

歳 出

款・項・目	金額(千円)	説 明
11. 教育費	134,583	
1. 教育総務費	128,483	
2. 事務局費 (職員課)	125,822	2. 給料 98,012,000 円 ◎会計年度任用職員給料 98,012,000 円
		3. 職員手当等 20,031,000 円 ◎通勤手当 1,993,000 円 ◎時間外勤務手当 876,000 円 ◎期末手当 9,723,000 円 ◎勤勉手当 7,439,000 円
		4. 共済費 7,779,000 円 ◎共済組合負担金 784,000 円 ◎公立学校共済組合負担金 6,995,000 円
3. 学校教育指導費 (指導課)	2,661	10. 需用費 2,661,000 円 ◎定期刊行物費 ・学校図書館新聞設置費 2,661,000 円
4. 学校給食費	4,700	
1. 学校給食費 (保健体育課)	4,700	18. 負担金補助及び交付金 4,700,000 円 ◎補助金 ・国公立特別支援学校在籍児童生徒給食費 支援事業補助金 4,700,000 円
6. 社会教育費	1,400	
1. 社会教育総務費 (職員課)	1,400	1. 報酬 1,171,000 円 ◎会計年度任用職員報酬 1,171,000 円
		3. 職員手当等 196,000 円 ◎期末手当 111,000 円 ◎勤勉手当 85,000 円
		8. 旅費 33,000 円 ◎費用弁償ならびに職員随行旅費 33,000 円
歳出合計	134,583	

※補正後の教育費全体の合計額は、202億3,258万3千円となる。

報告第 1 2 号

市川市立学校園の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画の策定に関する臨時代理の報告について

市川市教育委員会教育長に対する事務の委任等に関する規則第 2 条第 1 項の規定により令和 8 年 5 月 1 3 日に別紙のとおり、令和 8 年度における市川市立学校園の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画の策定について臨時に代理したので、同条第 2 項の規定によりこれを報告する。

令和 8 年 6 月 4 日提出

市川市教育委員会  
教育長 高木 秀人



**市川市立学校園の教育職員に関する  
業務量管理・健康確保措置実施計画**

**令和8年5月**

**市川市教育委員会**

《本計画内の表記について》

学校園・・・市立小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校・幼稚園  
 学校・・・市立小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校  
 幼稚園・・・市立幼稚園  
 教師・・・上記の学校園に置く教育職員

## 1 計画の趣旨、現状

### (1) 計画の趣旨

学校園における働き方改革については、教師が心身ともに健康を保つことができる環境を整え、子供たちによりよい教育を行うため、公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法第8条に基づき本計画を策定するものである。

### (2) 本市の現状

学校においては、「市川市立小学校、中学校、義務教育学校及び特別支援学校管理規則」（昭和39年教育委員会規則第1号。以下「学校管理規則」という。）について令和6年3月に一部改正し、教師の業務量の管理、在校等時間の縮減に取り組んできた。

また、幼稚園については、「市川市立幼稚園管理規則」（平成15年教育委員会規則第6号）第6条の規定により「学校管理規則」の例によるとされている。

### 【時間外在校等時間】

○教員等（幼稚園：教頭含む）

<教員等>	月平均 (市川市)	月平均 (千葉県)	月45時間を上回る割合	実施日
幼稚園	4時間 6分	—	0%	R7平均
小学校	35時間 33分	39時間 20分	32%	R6.11
中学校	41時間 51分	51時間 38分	41%	R6.11
義務教育学校	47時間 00分	—	63%	R6.11
特別支援学校	27時間 27分	23時間 53分	9%	R6.11

## ○教頭

<教頭>	月平均（市川市）	月平均（千葉県）	実施日
小学校	6 1 時間 3 2 分	6 1 時間 5 2 分	R6.11
中学校	5 5 時間 3 2 分	5 8 時間 3 2 分	R6.11
義務教育学校	5 6 時間 4 5 分	—	R6.11
特別支援学校	6 8 時間 3 9 分	5 7 時間 0 7 分	R6.11

## 2 目標

本計画において達成を目指す目標は以下のとおり。

### （1）時間外在校等時間に関する目標

- ・令和 1 1 年度までに学校の教師一人当たりの「一箇月時間外在校等時間」（「公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法等の一部を改正する法律」（令和 7 年法律第 6 8 号）附則第 3 条において規定）を平均 3 0 時間程度に削減する。
- ・学校は、令和 6 年 1 1 月実施の各学校の 4 5 時間を上回る割合の数値を下回るようにする。
- ・幼稚園における教師一人当たりの「一箇月時間外在校等時間」は、現状で月平均 4 時間 6 分となっているため、本計画期間中においても引き続き、この良好な状況を維持することを目標とする。

### （2）ワーク・ライフ・バランスや働きがい等に関する目標

- ・教師が、生き生きと教育活動に取り組み、働きがいを実感できる学校園の現場を目指す。
- ・学校の令和 7 年度のストレスチェックにおける高ストレス者の割合が 1 1. 8 %であった。毎年、前年の高ストレス者の割合の数値を超えないようにし、令和 1 1 年度の割合を 5 %未満まで減少させる。
- ・幼稚園の令和 7 年度のストレスチェックにおける高ストレス者率の割合が 0 %であった。引き続き、高ストレス者率 3 %未満を維持する。

### 3 計画の期間

令和8年度～令和11年度（4年間）

### 4 実施する業務量管理・健康確保措置の内容

本市では、本計画期間中の重点事項として以下の内容に取り組む。

#### (1) 「業務の3分類」を踏まえた業務の見直し

《学校園以外が担うべき業務》

##### ① 登下校時の通学路における日常的な見守り活動等

- ・地域学校協働活動推進員等を通して、保護者・地域住民による通学路の見守り活動を推進する。

##### ② 放課後から夜間における校外の見回り児童生徒が補導された時の対応

- ・放課後から夜間における見回りについては、少年補導員が行っている見回りに委ねることとし、学校園における自主的な見回りは原則行わないこととする。

##### ③ 学校園の徴収金の徴収・管理

- ・教材費等の学校園の徴収金については、対象範囲や徴収手続き、回数等を精査する。学校については教育委員会にて徴収金の公会計化を目指す。

##### ④ 地域学校協働活動の関係者間の連絡調整等

- ・地域学校協働活動推進員が地域と学校園をつなぐコーディネーターとして、学校園と地域住民、企業などを結び、学校園を支援するボランティアの募集や地域活動の企画・調整・情報共有を行い、地域全体で子どもの成長を支える。

##### ⑤ 保護者等からの過剰な苦情や不当な要求等の学校では対応が困難な事案への対応

- ・学校については教育委員会にコールセンターの設置を目指す。また、教育委員会が窓口となり、弁護士等の専門家を活用できる環境を整える。

《教師以外が積極的に参画すべき業務》

⑥ 学校に対する調査統計

- ・学校に対して不要な調査を行っていないか、調査内容が教育委員会内の複数の課で重複していないか、回答方法を簡略化できないか、教育委員会内の連携を強化する。

⑦ 学校の広報資料・ウェブサイトの作成・管理

- ・学校のウェブサイトの管理に関しては教育委員会にて行う。

⑧ 学校のICT機器・ネットワーク設備の日常的な保守・管理

- ・学校については効果的な校務支援システムの導入を目指す。

⑨ 学校プールや体育館等の施設・設備の管理

- ・学校においては学校運営支援事業等を活用し、プール清掃や施設等の維持・管理を行う。市川市学校環境基本計画では学校の建替えや大規模な修繕が必要になったタイミングで、学校近隣の民間スイミング施設等を利用する。近隣に民間スイミング施設が無い場合は、拠点化プールの設置について検討する。

⑩ 校舎の開錠・施錠

- ・学校においては民間委託も含め、今後検討していく。

⑪ 児童生徒の休み時間における安全への配慮

- ・学校においては地域学校協働活動推進員等を通して、保護者・地域住民による支援を要請する。

⑫ 校内清掃

- ・学校においては地域学校協働活動推進員等を通して、保護者・地域住民による支援を要請する。

⑬ 部活動

- ・令和10年度までに、全ての休日の部活動を地域展開できるよう目指す。平日の地域展開については、土日の地域展開が完了した段階で、成果と課題を分析し、平日の地域展開に関する方針を策定していく。

《教師の業務だが負担軽減を促進すべき業務》

⑭ 給食の時間における対応

- ・学校においては地域学校協働活動推進員等を通して、保護者・地域住民による支援を要請する。

⑮ 授業準備

- ・すべての学校に配置される千葉県スクールサポートスタッフ（以下：県3S）のが、理科の実験準備や片付け、各教科の準備やサポートができる体制にする。

⑯ 学校の学習評価や成績処理

- ・県3Sが点検や入力等のサポートが務める校内体制にする。
- ・自動採点ソフト、校務支援システムの機能を最大限活用し、採点作業や成績処理等に係る事務負担を軽減する。

⑰ 学校園の行事の準備・運営

- ・地域学校協働活動推進員等を通して、保護者・地域住民による支援を要請する。

⑱ 学校の進路指導の準備

- ・学校においては、県3Sが情報収集や進学先から届く資料の仕分けなど事務処理等を行い進路指導主事の業務をサポートする。

⑲ 支援が必要な園児・児童生徒・家庭への対応

- ・学校においてはライフカウンセラー、スクールカウンセラーが生徒指導関係の校内会議に参加し、専門的な知見を活用しつつ、家庭と学校が連携して児童生徒を支援する体制を構築する。
- ・幼稚園においては幼児教育相談員が幼稚園を巡回し、教師への保育に関する指導や助言、保護者に対して、子どもの発達への不安解消や子どもへの理解を深めるためのアドバイスを行う。

## (2) 学校園における措置の推進

教師が担う業務の適正化を図るため、以下の措置を推進する。

- 当初の狙いが形骸化し十分な効果が見込めない活動等を見直す。清掃の時間や週あたりの回数等、日課表を見直し放課後の時間を確保する。
- 校務支援システム、タブレット等の活用により、事務処理を効率化する。全職員が活用できるように共有する。
- 各校の課題や実態に合わせ、学校運営支援事業費を活用し教育活動の質を高める。
- 幼稚園については、上述の内容を参考に業務の適正化に努める。

## (3) 教師の健康及び福祉の確保に関する取組

教師の健康及び福祉を確保するため、労働安全衛生法等の規定を遵守するとともに、以下の内容に取り組む。

- 「一箇月時間外在校等時間」が80時間を超えた教師には、必要に応じて医師による面接指導を実施する。
- 教師の休憩時間を確保する。会議や打合せ等は教師の休憩時間外で設定する。校園内に教師の休憩場所を設ける。
- 学校園のストレスチェックの実施率を100%にする。実施後の集団分析の結果等も活用して職場環境の改善を推進する。  
(学校の令和7年度実施率：78.7%)  
(幼稚園の令和7年度実施率：95.1%)
- 年次休暇を連続して取得できるよう、長期休業中の閉庁日数を増やせるように調整する。
- 年次休暇を取得しやすい雰囲気づくりを心掛ける。学校園や学年単位で計画的に年次休暇を取得する体制を目指す。

## 5. 関連する取組、今後のフォローアップについて

- 学校園における時間外在校等時間にかかる目標の達成状況については、本市で導入している勤怠管理システムで把握する。
- 学校園における心身の健康については、本市で導入しているストレスチェックの結果から把握する。
- 取組と教師の在校等時間の状況をHPで公表するとともに、定例の教育委員会及び総合教育会議において報告する。
- 教育委員会、こども家庭部において、学校園の状況を確認し、本計画の内容に照らして課題が見られるときは、学校園に聞き取り・指導等を実施する。  
特に、時間外在校等時間が長時間となっている教師がいる学校園や業務の持ち帰りや休憩時間の確保が課題となっている学校園に対しては、年途中の速やかな改善を目指し、支援・指導を実施する。
- 働き方改革の取組が進むよう、学校園へ本計画の周知を行うとともに、各学校園の取組をすべての学校園に発信するなど支援を強化する。
- 各学校園においては、校長・園長をはじめとした管理職のリーダーシップのもと、自校園の本計画を学校運営協議会の承認を得て、協議等も踏まえつつ、本計画に基づき教師の働き方改革に向けた取組を実施する。

## 令和８年度における教科書展示会について

1 主 催 市川市教育委員会

2 目 的 令和９年度使用の特別支援学校用教科書見本、令和８年度使用小・中学校用教科書及び特別支援学校用教科書を展示し、教育関係者のみならず、広く市民へその内容の周知を図るために教科書展示会を開催する。

3 第１回教科書展示会（法定教科書展示会 １４日間）

（１）会 場 市川市役所第１庁舎１階大型モニター前

（２）期 間 令和８年６月１２日（金）から７月１日（水）まで

※土日を除く

（３）開催時間 ８：４５～１７：１５

4 第２回教科書展示会（市川市独自の教科書展示会 ５日間）

（１）会 場 市川市南行徳市民談話室

（２）期 間 令和８年７月６日（月）から７月１０日（金）まで

（３）開催時間 １０：００～１７：００

5 第３回教科書展示会（市川市独自の教科書展示会 ３７日間）

（１）会 場 市川市文学ミュージアム資料室

（市川市生涯学習センター３階）

（２）期 間 令和８年７月１８日（土）から８月３０日（日）まで

※７月２１日（火）、７月２７日（月）、７月３１日（金）、  
８月 ３日（月）、８月１０日（月）、８月１７日（月）  
及び８月２４日（月）を除く

（３）開催時間 １０：００～１７：００

令和 7 年度の教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価

## 点検・評価報告書（案）

人をつなぐ 未来へつなぐ 市川の教育



令和 8 年 月  
市川市教育委員会



# 目 次

I 点検・評価の概要	1
1 目的	
2 対象	
3 方法	
II 令和 7 年度の教育委員会の活動状況	2
1 教育行政運営方針に掲げた取組	
2 教育委員会会議の開催状況	
3 総合教育会議の開催状況	
4 その他の活動状況	
5 活動のふりかえりと今後の取組の方向性	
III 教育振興基本計画の体系	
IV 施策の点検・評価	
1 評価方法	
2 成果指標及び参考指標調査凡例	
3 施策ごとの評価	
施策ごとの評価一覧	
【方針 1】子どもたち一人ひとりの可能性を引き出す教育の推進	
【方針 2】学びの質の向上と学びの保障の実現	
【方針 3】ともに支え合う学びの環境整備	
V 資料	
VI 経過	



## I 点検・評価の概要

平成 20 年度から施行された地方教育行政の組織及び運営に関する法律（平成 19 年改正）により、教育委員会は自らの活動について、学識経験者の知見を活用して点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出し、公表することとされました。

本報告書は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条の規定に基づき、令和 7 年度の教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価（以下「点検・評価」という。）を教育委員会が行い結果をまとめたものです。

### 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第 4 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

### 1 目的

点検・評価とその結果の公表は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条の規定に基づき、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たし、教育の一層の振興を図ることを目的として行うものです。

### 2 対象

令和 7 年度における教育委員会の活動状況と第 4 期市川市教育振興基本計画に基づき実施した令和 7 年度の事業の取組等を点検・評価の対象としました。

### 3 方法

令和 7 年度の評価については、施策を支える事業の取組状況に基づく評価（事業の評価）と成果指標の令和 7 年度の達成状況に基づく評価（成果指標の評価）をもとに、施策の進捗状況を評価（施策の評価）し、今後の事業・取組の方向性を整理しました。

## II 令和 7 年度の教育委員会の活動状況

教育委員会は、市長から独立した執行機関として市川市に設置されており、教育長及び 5 人の教育委員で組織されています。市の教育に関する事務を管理・執行するために、教育行政運営上の重要事項や基本方針等について、教育委員会会議において審議し、決定しています。

職名	氏名	任期
教育長	高木 秀人	令和 7 年 4 月 1 日～ 令和 9 年 3 月 31 日
教育委員	山元 幸恵	令和 4 年 4 月 1 日～ 令和 8 年 3 月 31 日
教育委員	大高 究	令和 3 年 7 月 1 日～ 令和 7 年 6 月 30 日 令和 7 年 7 月 1 日～ 令和 11 年 6 月 30 日
教育委員	広瀬 由紀	令和 3 年 8 月 2 日～ 令和 7 年 8 月 1 日 令和 7 年 8 月 2 日～ 令和 11 年 8 月 1 日
教育委員	田中 大介	令和 5 年 4 月 1 日～ 令和 9 年 3 月 31 日
教育委員	駒 久美子	令和 6 年 4 月 1 日～ 令和 10 年 3 月 31 日

### 1 令和 7 年度教育行政運営方針に掲げた取組

- ・全校に校内教育支援センター「スペシャルサポートルーム」の設置  
学校生活で何らかの困難さや困り感を感じ、教室に入りづらい、不登校の兆候が見られる、また一時的に気持ちを落ち着かせたいなどの状態にある児童生徒が、校内で安心して過ごせる居場所として、「スペシャルサポートルーム」を設置しました。
- ・全校に「みらいサポーター」の配置  
学校に行きづらさを感じている子どもや、個別に配慮を要する子どもの支援を行うため、校内教育支援センターに「みらいサポーター」を設置しました。
- ・学校部活動の地域展開  
令和 6 年度 9 月より試行した学校部活動の休日の地域展開を進め、令和 7 年度からは地域展開を希望する学校部活動(17 部活動)の地域クラブ化を行いました。
- ・学校運営支援事業の創設  
学校や地域の特性を生かした取組や教職員の働き方改革を推進する取組を行いました。
- ・「第 6 回全国国府サミット in 市川」の開催  
令和 7 年 11 月に、「第 6 回全国国府サミット in 市川」を開催し、「古代律令制度下に「国府」が置かれた自治体が一堂に会し、国府所在地としての歴史や文化、まちの魅力を伝えました。

## 2 教育委員会会議の開催状況

教育長及び教育委員が出席する教育委員会会議を 13 回開催しました。

会議に附した議案及び報告の内訳	議案	報告
教育に関する事務の管理及び執行の基本的な方針に関する事	5	1
教育委員会の規則その他教育委員会の定める規程の制定又は改廃に関する事	4	7
教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の設置及び廃止に関する事	0	0
教育委員会及び教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免その他の人事に関する事	16	5
教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する事	2	1
地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 27 条(幼保連携型認定子ども園に関する意見聴取)及び第 29 条(教育委員会の意見聴取)に規定する意見の申出に関する事	2	15
教育機関の敷地を設定し、又は変更する事	0	0
教育機関の施設の整備計画を定める事	0	0
教育功労者の表彰に関する事	1	0
学校の通学区域の決定に関する事	0	0
教科書の採択に関する事	4	1
重要文化財の指定及び解除に関する事	0	0
教育委員会がその当事者である争訟に関する事	0	0
職員団体との重要な交渉に関する事	0	0
請願及び陳情に関する事	0	0
上記に掲げるもののほか、重要かつ異例に属するもの	0	1
合 計	34	31

### 3 総合教育会議の開催状況

「総合教育会議」は市長と教育委員会が教育の課題や重点施策について協議・調整を行う場です。

令和7年度は、7月29日、11月4日、12月5日に開催し、「市川市教育振興具体化パッケージ」や「市川市教育振興重点施策」の協議・調整を通して、市川の教育の目指す方向性を確認しました。

### 4 その他の活動状況

教育委員が研修会等に参加し研鑽を積むとともに、学校施設や授業を参観するなど教育現場の状況把握を行い、教育委員としての活動の充実に努めました。

研修会等	行事、視察等
・市町村教育委員会研究協議会 (Web開催)  など	・市川市教育委員会教育功労者表彰式 ・市川市教育委員会教育実践記録論文表彰式 ・教育委員交流会 ・運動会  など

### 5 活動のふりかえりと今後の取組の方向性

令和7年度も令和6年度に引き続き、第4期市川市教育振興基本計画及び教育行政運営方針に基づき、施策の推進を図りました。

国の中央教育審議会では、次期学習指導要領の改訂に向けた審議が進められており、基本的な考え方として、「生涯にわたって主体的に学び続け、多様な他者と協働しながら、自らの人生を舵取りすることができる、民主的で持続可能な社会の創り手を「みんな」で育むため、①「主体的・対話的で深い学び」の実装②多様性の包摂、③実現可能性の確保の3つの方向性を踏まえて議論を行う」ことが示されました。

また、令和6年度の全国における小中学校の不登校児童生徒数は、35万人と過去最多となり、誰一人取り残さない学びを保障することがより一層求められています。

本教育委員会におきまして、子どもたちの育ちや学びに責任を持つとともに、市民や若者による社会教育活動や文化財の保存・活用などを進めます。そして、各施策の推進にあたっては、学校と一体となって取り組むとともに、家庭や地域など様々な関係者との連携や協働を進めます。

### Ⅲ 教育振興基本計画の体系

【基本理念】 人をつなぐ 未来へつなぐ 市川の教育

基本方針	目 標	施 策
〈方針 1〉 子どもたち 一人ひとりの 可能性を引き出す 教育の推進	1 確かな学力の 育成	1 幼児期における教育の推進
		2 児童生徒の確かな学力を育成する取組の推進 (「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善)
		3 学校段階間の接続の推進
	2 豊かな心の育成	4 道徳教育・人権教育の充実
		5 読書活動の充実
		6 体験活動・交流活動の充実
	3 健やかな体の 育成	7 望ましい生活習慣を身に付ける取組の推進
		8 食育の推進
		9 運動やスポーツに親しむ機会の充実
	4 社会の変化に 対応できる 資質・能力の育成	10 社会的・職業的自立
		11 社会参画意識の醸成
		12 グローバル人材育成
〈方針 2〉 学びの質の向上と 学びの保障の実現	5 ICT の活用推進	13 児童生徒の情報活用能力の向上
		14 教育の ICT 環境整備の充実
		15 教職員の ICT 活用指導力の向上
	6 指導体制・ 教育環境の整備	16 働き方改革の推進
		17 教職員の指導力の向上
		18 安全・安心で質の高い教育環境の整備
	7 多様な教育 ニーズへの対応	19 特別支援教育の推進
		20 不登校児童生徒への対応
		21 夜間中学の教育的支援と教育活動の充実
		22 教育費負担の軽減に向けた経済的支援
		23 教育的支援が必要な子どもへの対応と相談体制の強化
		24 放課後の子どもの居場所づくりの推進
〈方針 3〉 ともに支え合う 学びの環境整備	8 家庭・学校・地域 の連携と協働の推進	25 家庭の教育力の向上
		26 地域の教育力の向上と地域の教育資源の活用の推進
	9 生涯にわたる学び の推進	27 生涯学び、活躍できる環境の整備
		28 図書館機能を活用した学習活動の充実
		29 博物館などの活用を通じた学習活動の推進
		30 公民館の活用の推進
10 文化財の保護・ 活用と調査	31 文化財の保護・活用と調査の推進	

## IV 施策の点検・評価

この章では、第4期市川市教育振興基本計画が示す31の施策を対象に、点検・評価を行います。

評価は、事業の進捗状況等による「事業評価」と、アンケート等による「成果指標の評価」、事業の評価と成果指標の評価を組み合わせた「施策の評価」を行っています。

また、定性的な評価として、今後の教育施策の推進に係る委員からの意見について、「評価の振り返り」に記載しています。

### 1 評価方法

#### ■事業（活動指標）の評価

事業（活動指標）の目標に対する達成状況を評価します。

	目標達成率 90%以上 または事業計画執行	目標達成率 90%未満 または事業計画未執行
評価	良 好	要 検 討

事業の評点 ※施策に定めた事業の評価の「良好」の割合により0～5点とします。

「良好」の事業数 / 総事業数	100%	100%未満 ～80%	80%未満 ～60%	60%未満 ～40%	40%未満 ～20%	20%未満 ～0%
評点	5	4	3	2	1	0

#### ■成果指標の評価

成果指標の目標に対する達成状況を評価します。

	達成率 90%以上	達成率 90%未満
評価	達 成	未 達 成

成果指標の評点 ※施策に定めた成果指標の評価の「達成」の割合により0～5点とします。

「達成」の項目数 / 総項目数	100%	100%未満 ～80%	80%未満 ～60%	60%未満 ～40%	40%未満 ～20%	20%未満 ～0%
評点	5	4	3	2	1	0

#### ■施策の評価（目標の進捗状況）

「事業の評点」と「成果指標の評点」とを合計した点数にて評価をします。

評点の合計	10点～8点	7点～6点	5点～3点	2点～0点
評価	順 調	概ね順調	やや遅れあり	遅れあり

## 2 成果指標及び参考指標調査凡例

### 学...全国学力・学習状況調査

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、児童生徒の学力や学習状況を把握・分析する全国調査で、小学6年生・中学3年生を対象とした教科に関する調査(国語、算数・数学)と小学6年生・中学3年生・学校を対象とした生活習慣や学校環境に関する調査があります。これらの調査の一部を成果指標及び参考指標として使用しています。

《回答数》

令和7年4月18日実施(指導課)

	学校・園	児童生徒
小学校*	39校	3,334人
中学校*	16校	2,798人

※塩浜学園(前期課程・後期課程)を含む

### 保...保護者・児童生徒アンケート

学校が主体的に学校運営を改善し、子ども・家庭・地域からの信頼を高めるために、保護者及び小学校5年生～中学校3年生の児童生徒を対象とした調査で、年2回(7月・12月)アンケートを実施し、学校運営を改善するためのツールとして活用するとともに公表しています。12月の結果を成果指標及び参考指標として使用しています。

《回答数》

令和7年12月上旬～12月中旬実施(義務教育課)

	保護者	児童生徒
小学校*	14,021人	6,517人
中学校*	5,392人	7,024人
特別支援学校	198人	32人
幼稚園	146人	

※塩浜学園(前期課程・後期課程)

### 市民...いちモニアンケート

市川市が実施する登録制のアンケート調査で、登録者に市からメールで市川の教育に関するアンケートを発信し、回答を集計しています。一般市民を対象とする成果指標及び参考指標として使用しています。

(令和8年1月26日～2月8日実施(教育政策課) 回答者数:3,279人)

### 各...各所管での調査

各所管が事業を実施する際に行うアンケート結果や事業の参加者数などを、成果指標及び参考指標として使用しています。

#### 【出典(調査名等)の所管課名】

- (総)…教育総務課
- (政)…教育政策課
- (生)…生涯学習振興課
- (文)…文化財課
- (図)…図書館課
- (義)…義務教育課
- (指)…指導課
- (保)…保健体育課
- (学地)…学校地域連携推進課
- (セ)…教育センター

### 3 施策ごとの評価

#### 施策ごとの評価一覧

方針	施策		評価	頁
子どもたち一人ひとりの可能性を引き出す教育の推進	目標 1 確かな学力の育成			
	1	幼児期における教育の推進	順調	10
	2	児童生徒の確かな学力を育成する取組の推進 (「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善)	順調	12
	3	学校段階間の接続の推進	概ね順調	14
	目標 2 豊かな心の育成			
	4	道徳教育・人権教育の充実	順調	16
	5	読書活動の充実	概ね順調	18
	6	体験活動・交流活動の充実	順調	20
	目標 3 健やかな体の育成			
	7	望ましい生活習慣を身に付ける取組の推進	順調	22
	8	食育の推進	順調	24
	9	運動やスポーツに親しむ機会の充実	順調	26
目標 4 社会の変化に対応できる資質・能力の育成				
10	社会的・職業的自立	順調	28	
11	社会参画意識の醸成	順調	30	
12	グローバル人材育成	順調	32	

学びの質の向上と学びの保障の実現	目標 5 ICT の活用推進			
	13	児童生徒の情報活用能力の向上	概ね順調	34
	14	教育の ICT 環境整備の充実	やや遅れあり	36
	15	教職員の ICT 活用指導力の向上	概ね順調	38
	目標 6 指導体制・教育環境の整備			
	16	働き方改革の推進	順 調	40
	17	教職員の指導力の向上	順 調	42
	18	安全・安心で質の高い教育環境の整備	順 調	44
	目標 7 多様な教育ニーズへの対応			
	19	特別支援教育の推進	概ね順調	46
	20	不登校児童生徒への対応	順 調	48
	21	夜間中学の教育的支援と教育活動の充実	順 調	50
	22	教育費負担の軽減に向けた経済的支援	順 調	52
23	教育的支援が必要な子どもへの対応と相談体制の強化	順 調	54	
24	放課後の子どもの居場所づくりの推進	概ね順調	58	
ともに支え合う学びの環境整備	目標 8 家庭・学校・地域の連携と協働の推進			
	25	家庭の教育力の向上	順 調	60
	26	地域の教育力の向上と地域の教育資源の活用の推進	やや遅れあり	62
	目標 9 生涯にわたる学びの推進			
	27	生涯学び、活躍できる環境の整備	順 調	66
	28	図書館機能を活用した学習活動の充実	順 調	68
	29	博物館などの活用を通じた学習活動の推進	概ね順調	70
	30	公民館の活用の推進	順 調	72
	目標 10 文化財の保護・活用と調査			
	31	文化財の保護・活用と調査の推進	概ね順調	74

<p><b>▶ 施策1 幼児期における教育の推進</b></p> <p>幼児の発達に応じた遊びや生活を通して、健康な心と体、人と関わる力を育てます。また、自発的に周囲の様々な環境に関わり、好奇心や探究心を持ち感じたことや考えたことを言葉で表現し、生涯にわたる人格形成の基礎を培う幼児教育を進めます。</p> <p>さらに、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を家庭・小学校・地域と共有するとともに、関係部署等と連携し、家庭への支援や地域資源の活用を進めることにより、幼児教育の質を高めます。</p> <p>あわせて、幼児期の教育から小学校教育へのなめらかな接続を図ります。</p>
---

<b>施策の評価</b>	<b>順 調</b>
--------------	------------

《評 点》

事業の評価	成果指標の評価	施策の評価
良 好 3項目 要 検 討 0項目	達 成 4項目 未 達 成 0項目	順 調
5点 3/3(100%)	5点 4/4(100%)	10点

**評価に対する留意事項**

評価の結果は、施策の実現に向けて順調に進捗しています。

令和8年度は、子どもの切れ目のない育成を実現するため、幼保小の架け橋プログラム<sup>注1</sup>の実施活用の促進を図る必要があります。

注1：幼保小の架け橋プログラム…子どもに関わる大人が立場を超えて連携し、架け橋期(義務教育開始前後の5歳児から小学校1年生の2年間)にふさわしい主体的・対話的で深い学びの実現を図り、一人ひとりの多様性に配慮した上ですべての子どもに学びや生活の基盤を育むことを目指すもの。

《評価の詳細》

【事業(活動指標)の評価】

<b>事業名：創意と活力のある学校づくり事業</b>			
活動指標	目標	R7実績	評価
創意と活力のある学校づくりを進めている校長園長の割合	100%	100%	<b>良 好</b>
取組の実績			
各校長・園長が推進計画書を作成し、10月に進捗状況を確認する面接を実施し、3月に報告書を提出することを通して、各学校・各園における創意と活力のある学校づくりを推進しました。また、各学校・各園へ研究推進のための講師謝礼金を配当し、研究を推進しました。			

<b>事業名：幼稚園教諭と保育士との交流</b>			
活動指標	目標	R7実績	評価
研修会の実施回数	10回	11回	<b>良 好</b>
取組の実績			
公立幼稚園に公立保育園の職員が園内研修会や実地研修に参加しました。幼稚園の保育の様子を参観し、研究会に参加したり、実際に保育を経験したりすることで、保育園と幼稚園の保育の違いや、幼児への声掛け、配慮の具体的な対応を知るきっかけとなり、保育の質の向上につながりました。			

【方針1】目標1 確かな学力の育成

事業名：幼児教育推進事業			
活動指標	目標	R7実績	評価
幼稚園を巡回し、指導助言した回数 ①公立幼稚園 ②私立幼稚園	①60回 ②120回	①64回 ②120回	良好
取組の実績			
公立・私立幼稚園に幼児教育相談員が巡回を行い、配慮を要する幼児への対応を具体的に指導することで、幼児教育を推進しました。保護者への相談も受けており、年々利用数が増えています。			

【成果指標の評価】

NO.	指標の内容	指標の対象	実績値					第4期 目標値 (達成率)	評価	出典 (調査名 等)
			R6	R7	R8	R9	R10			
1	「お子さんは、遊びや生活の中でできるようになったことを使い、新しい考えを持ち、新たなことに挑戦したりしている」と回答する保護者の割合	保護者 (幼稚園)	95%	96%				100% (96%)	達成	保
2	「幼稚園は子ども一人ひとりに応じた丁寧な援助や指導を行っている」と回答する保護者の割合	保護者 (幼稚園)	99%	98%				100% (98%)	達成	保
3	「お子さんは、誰とでも優しく関わっている」と回答する保護者の割合	保護者 (幼稚園)	93%	94%				95% (99%)	達成	保
4	「お子さんは、食事のマナー・着替え・うがい・手洗い等基本的な生活習慣が身に付いている」と回答する保護者の割合	保護者 (幼稚園)	93%	95%				98% (97%)	達成	保

【参考】

NO.	指標の内容	指標の対象	実績値					出典 (調査名等)
			R6	R7	R8	R9	R10	
1	アプローチカリキュラム・スタートカリキュラム注2の実施・活用状況	幼稚園 保育園 (公立)	100%	100%				各 アプローチカリキュラム 実施調査アンケート(指)  ※但し、幼稚園・保育園 等(私立)は任意回答 (R7回答率27.9%)
		幼稚園 保育園等 (私立)	—	100%				
		スタート カリキュラム	小学校	89%	82%			
16 新規	「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」に向けて、関係機関等と連携しながら幼児教育を進めていると回答する幼稚園教職員の割合	教職員 (幼稚園)	—	97%				各 独自アンケート(政)

注2：アプローチカリキュラム…幼児期にふさわしい生活を通して、この時期の資質・能力を育み、小学校生活や学びに繋がるよう工夫された5歳児10月から修了までの指導計画。  
スタートカリキュラム…小学校生活へ適応していけるよう、幼児期の育ちや学びを基にして編成した入学当初の指導計画。

<p><b>▶ 施策2 児童生徒の確かな学力を育成する取組の推進</b>  <b>（「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善）</b></p>
<p>学習の基盤となる読解力の向上に取り組むとともに、基礎的・基本的な内容を確実に習得できるよう、個に応じた学びを充実させるために、指導方法の改善と学習環境の整備に取り組みます。また、主体的・対話的で深い学びを通じた授業改善を図り、身に付けた知識や技能を学習や生活に活用していく力を高めるための問題解決型の学習を充実させます。</p> <p>とりわけ、児童生徒が自ら課題を設定し、解決に向けて情報収集・分析などを行い、周囲の人々と協働しながら進めていく探究学習を進めます。これにより、児童生徒が自己の生き方を考えていくための資質・能力を身に付けたり、自らの学びを振り返り、より物事や自分自身に関する内省的な考えを深められるようにしていきます。</p>

<p><b>施策の評価</b></p>	<p><b>順 調</b></p>
---------------------	-------------------

《評 点》

事業の評価	成果指標の評価	施策の評価
<p>良 好 5項目 要 検 討 0項目</p>	<p>達 成 4項目 未 達 成 0項目</p>	<p>順 調</p>
<p>5点 5/5(100%)</p>	<p>5点 4/4(100%)</p>	<p>10点</p>

**評価に対する留意事項**

評価の結果は、施策の実現に向けて順調に進捗しています。

令和8年度は、次期学習指導要領でも柱の一つである主体的・対話的で深い学びの実装に向け、教職員研修の実施や講師配置により授業改善や学習環境の整備などに取り組む必要があります。

《評価の詳細》

【事業(活動指標)の評価】

<p>事業名：学習支援教員雇上事業<sup>注1</sup></p>			
活動指標	目標	R7実績	評価
学校の要望に応じて、講師配置ができた割合	100%	100%	<p><b>良 好</b></p>
取組の実績			
<p>市内の全小学校に配置するとともに、中学校については、教科ごとに必要のある中学校へすべて配置し、きめ細かな指導の充実を図りました。</p>			

注1：第4期教育振興基本計画策定時の事業名「少人数学習等担当補助教員雇上事業」より変更。

<p>事業名：学校環境整備事業</p>			
活動指標	目標	R7実績	評価
学校におけるWi-Fi環境整備計画	特別教室への設置計画	特別教室への設置計画	<p><b>良 好</b></p>
取組の実績			
<p>国の基準を基に、特別教室へのWi-Fi環境整備の計画を行うとともに、一部整備を進めることで学習環境の充実を図りました</p>			

【方針1】目標1 確かな学力の育成

事業名：各種作品展事業			
活動指標	目標	R7実績	評価
作品展の開催回数	2回	2回	良好
取組の実績			
9月に科学作品展を実施し、471点の出品、2,510人の集客がありました。11月に文化会館でこども作品展・新聞展を開催し、1,658点の出品、4,594人の集客がありました。作品展の出品・開催を通して、子どもたちの豊かな感性の育成に資する取組を行いました。			

事業名：音楽会活動事業			
活動指標	目標	R7実績	評価
音楽会の開催回数	3回	3回	良好
取組の実績			
11月に児童生徒音楽会を行い、児童生徒約4,120人が参加しました。12月には管弦楽フェスティバルを行い、約1,590人が参加、合唱フェスティバルでは約240人が参加しました。また、各中学校ブロックで地区別音楽会を実施しました。音楽会の開催を通して、子どもたちが音楽に親しむことのできる活動を行うことができました。			

事業名：教職員等研修事業			
活動指標	目標	R7実績	評価
希望研修の参加者数	350人	367人	良好
取組の実績			
教科に関することや昨今の教育課題に対する研修等、学校のニーズに合った研修を行いました。経験年数・職務に関わらず参加できるようにし、幅広く教職員の指導力を向上する機会を設けたことで、教職員の指導技術や授業力向上を図りました。			

【成果指標の評価】

NO.	指標の内容	指標の対象	実績値					第4期 目標値 (達成率)	評価	出典 (調査名等)
			R6	R7	R8	R9	R10			
5	「授業で学んだことを、ほかの学習で生かしている」と回答する児童生徒の割合	児童(小6)	86%	88%				87% (101%)	達成	各 独自アンケート (政)
		生徒(中3)	87%	86%				88% (98%)	達成	各 独自アンケート (政)
6	「家で、自分で計画を立てて勉強をしている」と回答する児童生徒の割合	児童(小6)	67%	65%				70% (93%)	達成	各 独自アンケート (政)
		生徒(中3)	67%	67%				70% (96%)	達成	各 独自アンケート (政)

【参考】

NO.	指標の内容	指標の対象	実績値					出典 (調査名等)
			R6	R7	R8	R9	R10	
2	全国学力・学習状況調査の結果	国語 児童(小6)	68%	68%				学
		国語 生徒(中3)	58%	55%				学
		算数 児童(小6)	66%	61%				学
		数学 生徒(中3)	53%	49%				学
17 新規	「調べたいことや分からないことを自分から調べるなど、色々なことに興味を持って学習に取り組んでいる」と回答する児童生徒の割合	児童(小6)	—	76%				保
		生徒(中3)	—	77%				保

<p><b>▶ 施策3 学校段階間の接続の推進</b></p> <p>子どもの学びや育ちの連続性を強化するために、幼稚園、保育園、小学校、中学校、義務教育学校、特別支援学校、高等学校など、地域での学校等間の連携を進めます。 また、中学校ブロックを中心とした教職員や子どもの相互交流、授業公開などにより、指導の方法や子どもに関わる様々な情報の共有化を進め、学校等間のなめらかな接続を図ります。</p>
---

<p><b>施策の評価</b></p>	<p>概ね順調</p>
---------------------	-------------

《評点》

事業の評価	成果指標の評価	施策の評価
良 好 4項目 要 検 討 0項目	達 成 1項目 未 達 成 3項目	概ね順調
5点 4/4(100%)	1点 1/4(25%)	6点

**評価に対する留意事項**

評価の結果は、施策の実現に向けて概ね順調に進捗しています。  
令和8年度は、学校間の連携に関する研修や小中一貫を見据えた取組を進めることで、学校間のなめらかな接続を図る必要があります。

《評価の詳細》

【事業(活動指標)の評価】

<p>事業名：学校間連携推進事業</p>			
活動指標	目標	R7実績	評価
研修会の実施回数	2回	2回	良 好
取組の実績			
7月に教頭対象、2月に教務主任または担当者対象の研修会を実施することで、各学校・園における学校間の連携を推進しました。			

<p>事業名：交流人事</p>			
活動指標	目標	R7実績	評価
人事交流の成立の割合	23%	24%	良 好
取組の実績			
葛南教育事務所管内5市において、校種・教科・年齢・経験年数等をもとに、3年間の人材交流を推進しました。			

【方針1】目標1 確かな学力の育成

事業名：義務教育学校設置事業				
活動指標		目標	R7実績	評価
児童生徒の交流行事の実施回数 ①東国分爽風学園 ②信篤三つ葉学園		①5回 ②3回	①6回 ②5回	良好
取組の実績				
交流授業、部活動見学、合同遠足、共通献立給食、合同集会等の行事を実施することにより、小中の滑らかな接続を図りました。				

事業名：架け橋プログラム研修事業				
活動指標		目標	R7実績	評価
研修会の実施回数		2回	2回	良好
取組の実績				
7月と1月に幼児教育施設・小学校の管理職を対象に研修会を行い、延べ269園の参加がありました。教育目標や期待する子ども像の共有し、幼小連携の重要性について考えることで、幼小連携の意識醸成を図りました。				

注1：第4期教育振興基本計画策定時の事業名「アプローチカリキュラム・スタートカリキュラム研修事業」より変更。

【成果指標の評価】

NO.	指標の内容		指標の対象	実績値					第4期 目標値 (達成率)	評価	出典 (調査名等)
				R6	R7	R8	R9	R10			
7	アプローチカリキュラム・スタートカリキュラムの実施・活用状況	アプローチカリキュラム	幼稚園 保育園 (公立)	100%	100%				100% (100%)	達成	各 アプローチカリキュラム 実施調査アンケート(指)
		スタートカリキュラム	小学校	89%	82%				100% (82%)	未達成	各 スタートカリキュラム 実施調査アンケート(指)
8	「近隣等の中学校(小学校)と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行った」と回答する学校の割合		小学校	54%	54%				70% (77%)	未達成	学
			中学校	43%	56%				70% (80%)	未達成	学

【参考】

NO	指標の内容		指標の対象	実績値					出典 (調査名等)	
				R6	R7	R8	R9	R10		
1	アプローチカリキュラム・スタートカリキュラムの実施・活用状況	アプローチカリキュラム	幼稚園 保育園 (私立)	—	100%					各 アプローチカリキュラム 実施調査アンケート(指)  ※但し、幼稚園・保育園等 (私立)は任意回答 (R7回答率 27.9%)

▶ 施策4 道徳教育・人権教育の充実

特別の教科「道徳」を中心に、学校の教育活動全体を通じた道徳教育の質の向上を図り、命を大切にする心やお互いを認め合う心、協調する力、規範意識等の道徳性を身に付け高めます。

児童生徒一人ひとりが人権の意義やその重要性について正しい知識を身に付けるとともに、自分の大切さとともに他の人の大切さを認め、人権上の問題に対して改善点を見出し、人権への配慮が態度や行動に現れるよう人権教育を進めます。

いじめは重大な人権侵害であり、決して許されることではありません。いじめをしない、させない、許さないなど、他人を思いやるあたたかい心を育成し、いじめの未然防止に努めます。

施策の評価	順 調
-------	-----

≪ 評 点 ≫

事業の評価	成果指標の評価	施策の評価
良 好 4項目 要 検 討 0項目	達 成 8項目 未 達 成 0項目	順 調
5点 4/4(100%)	5点 8/8(100%)	10点

評価に対する留意事項

評価の結果は、施策の実現に向けて順調に進捗しています。  
令和8年度は、道徳教育・人権教育の充実に向けた研修会を実施するとともに、いじめの未然防止のため、人権教室や地域支援者との交流会を行う必要があります。

≪ 評価の詳細 ≫

【事業(活動指標)の評価】

事業名：学習支援推進事業			
活動指標	目標	R7実績	評価
人権教室を実施した学校数	40校	42校	良 好
取組の実績			
小学校37校、中学校5校で実施しました。小学生はいじめについて、中学生は個性の違いを受け止めることについて深く考える機会を設けることで、学習支援を推進しました。			

事業名：道徳教育推進事業			
活動指標	目標	R7実績	評価
研修会の実施回数	2回	2回	良 好
取組の実績			
5月と1月に小・中・義務教育学校の道徳教育推進教師を対象に研修会を行いました。全校の参加があり、道徳の全体計画や評価等について改めて考え、授業力の向上につなげました。			

【方針1】目標2 豊かな心の育成

事業名：教職員等研修事業			
活動指標	目標	R7実績	評価
研修会の実施回数	1回	1回	良好
取組の実績			
各学校の道徳教育推進教師と希望者への研修を兼ねて開催し、教職員の授業改善へつなげました。			

事業名：学校支援実践講座事業			
活動指標	目標	R7実績	評価
地域支援者との交流会の実施学級数・児童数	110学級 3,400人	132学級 4,008人	良好
取組の実績			
学校運営協議会等で周知をしたことで、希望学校数が向上しました。地域人材を増やすため今後も充実した講座を行っていきます。			

【成果指標の評価】

NO.	指標の内容	指標の対象	実績値					第4期 目標 (達成率)	評価	出典 (調査名等)
			R6	R7	R8	R9	R10			
9	「自分には、よいところがあると思う」と回答する児童生徒の割合	児童 (小6)	84%	87%				95% (92%)	達成	学
		生徒 (中3)	82%	86%				95% (91%)	達成	学
10	「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う」と回答する児童生徒の割合	児童 (小6)	95%	95%				100% (95%)	達成	学
		生徒 (中3)	94%	94%				100% (94%)	達成	学
11	「自分と違う意見について考えるのは楽しい」と回答する児童生徒の割合	児童 (小6)	70%	75%				82% (91%)	達成	学
		生徒 (中3)	73%	76%				82% (93%)	達成	学
12	「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答する児童生徒の割合	児童 (小6)	86%	89%				98% (91%)	達成	学
		生徒 (中3)	88%	90%				98% (92%)	達成	学

【参考】

NO.	指標の内容	指標の対象	実績値					出典 (調査名等)
			R6	R7	R8	R9	R10	
3	いじめの解消率	児童 (小1～小6)	79%	75%				各児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査(指)
		中学校 (中1～中3)	81%	72%				

<b>▶ 施策5 読書活動の充実</b>
<p>感性を豊かにし、想像力を高められるよう、家庭や地域と連携して幼児期からの読書活動(様々な本、図鑑、新聞、雑誌等を読んだり、何かを調べるためにこれらを読んだりすること)を推進し、読書環境の整備を進めます。</p> <p>園や学校で図書資料を活用した多様な読書活動、学習活動を通して、生涯にわたって、読書に親しみ、読書を楽しむ習慣を確立していきます。</p> <p>また、図書を活用した学習活動の充実のため、学校図書館相互や公共図書館とのネットワークを発展させるとともに、デジタル社会に対応した図書館資料の整備を進めます。</p>

施策の評価	概ね順調
-------	------

《評点》

事業の評価	成果指標の評価	施策の評価
良 好 3項目 要 検 討 0項目	達 成 1項目 未 達 成 3項目	概ね順調
5点 3/3(100%)	1点 1/4(25%)	6点

**評価に対する留意事項**

評価の結果は、施策の実現に向けて概ね順調に進捗しています。  
 令和8年度は、児童生徒の読書活動の推進に向け、図書資料を使った多様な読書活動を行うとともに、学校司書への支援等を通じ、読書活動の充実を図る必要があります。

《評価の詳細》

【事業(活動指標の評価)】

事業名：学校図書館支援事業			
活動指標	目標	R7実績	評価
学校図書館訪問回数	28回	30回	良 好
取組の実績			
学校図書館を訪問し、図書館の環境整備状況や学習状況を確認するとともに、学校司書との話を通して、学校図書館活用の推進及び改善を行いました。			

【方針1】目標2 豊かな心の育成

事業名：学校司書設置事業			
活動指標	目標	R7実績	評価
学校司書の設置率	100%	100%	良好
取組の実績			
市内公立学校に各1名の学校司書の設置を行い、学校図書館の管理、運営や児童生徒に対して教員が行う読書指導や学習指導を支援することで、学校図書館を活用した授業づくりの推進を図りました。			

事業名：小学校・中学校図書館資料整備事業			
活動指標	目標	R7実績	評価
資料の更新を行った学校図書館数	55校	55校	良好
取組の実績			
読書を通じて豊かな情操を育むことができる図書や、学習内容に合った図書の購入を行い、学校図書館資料の充実を図りました。(購入数7,786冊、除籍数16,730冊)			

【成果指標の評価】

NO.	指標の内容	指標の対象	実績値					第4期目標値(達成率)	評価	出典(調査名等)
			R6	R7	R8	R9	R10			
13	「読書は好きです」と回答する児童生徒の割合	児童(小6)	67%	69%				78%(88%)	未達成	学
		生徒(中3)	64%	60%				67%(90%)	達成	学
14	「学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、読書(電子書籍の読書も含みます。教科書や参考書、漫画や雑誌は除きます。)を1日当たり、全くしない」と回答する児童生徒の割合 (0%を目指す指標)	児童(小6)	20%	28%				15%(85%)	未達成	各 独自アンケート(政)
		生徒(中3)	31%	41%				30%(84%)	未達成	各 独自アンケート(政)

【参考】

NO.	指標の内容	指標の対象	実績値					出典(調査名等)
			R6	R7	R8	R9	R10	
18 新規	「日頃から読書に親しんだり、図書資料を使って調べる学習をしたりしている」と回答する児童生徒の割合	児童(小6)	—	53%				保
		中学校(中3)	—	45%				保

**▶ 施策6 体験活動・交流活動の充実**

子どもが年齢や世代を超えた人々と交流し、様々な体験ができるよう、ボランティアや福祉体験、集団宿泊、自然体験、文化芸術の鑑賞など、体験活動の充実を図ります。  
また、地域の方々との交流や職場体験、起業体験などを支援します。

施策の評価	順 調
-------	-----

《評 点》

事業の評価	成果指標の評価	施策の評価
良 好 5項目 要 検 討 0項目	達 成 2項目 未 達 成 0項目	順 調
5点 6/6(100%)	5点 2/2(100%)	10点

**評価に対する留意事項**

評価の結果は、施策の実現に向けて順調に進捗しています。  
令和8年度は、保護者、地域への体験・交流活動を実施するとともに、子どもの体験的な活動の充実に向け、各学校の特色を生かした活動を推進する必要があります。

《評価の詳細》

【事業(活動指標)の評価】

事業名：学習支援推進事業			
活動指標	目標	R7実績	評価
体験活動(講話・交流)を実施した学校数	55校	55校	良 好
取組の実績			
他校での活動内容を共有することで活動の幅を広げ、様々な交流・体験活動の実施により学習支援を行いました。学校に合った支援ができるよう、支援を続けていきます。			

事業名：学校情報化研究事業			
活動指標	目標	R7実績	評価
タブレット端末の導入割合	100%	100%	良 好
取組の実績			
12月中に小学校1年生への新規端末の配付を行い、1人1台端末の設置を完了するとともに、端末の更新を行うなど、学習用端末の整備を行いました。			

【方針1】目標2 豊かな心の育成

事業名：コミュニティクラブ事業			
活動指標	目標	R7実績	評価
コミュニティクラブが行う行事への参加者数	45,000人	44,119人	良好
取組の実績			
コミュニティクラブへの参加人数と学生ボランティアの数は年々増加しています。3回を実施して行う推進会議において他ブロックの活動を共有することで、地域の振興を図りました。			

事業名：体験学習事業(農業・稲作体験)			
活動指標	目標	R7実績	評価
農業・稲作体験の参加者数	170人	183人	良好
取組の実績			
体験学習事業を13回実施することで、農業・稲作を通して自然や人と触れ合い、収穫の喜びを体験することで、心豊かな子どもたちの育成を図ることができました。			

事業名：少年自然の家主催事業			
活動指標	目標	R7実績	評価
体験学習の種目数	7種目	7種目	良好
取組の実績			
少年自然の家主催事業では、以下の体験学習を実施しました。 ○「チャレンジャースクール」5回(小学4～6年生) ○「ザ・チャレンジ自由研究」1回(小学生) ○「親子お月見の会」「親子宿泊体験」「親子で火を囲もう」各1回(小中学生を含む親子) ○「親子冬の天体観測会」2回(小中学生を含む親子) ○「プラネタリウムコンサート」1回(小学生以上)			

事業名：家庭や地域と連携した環境学習の推進			
活動指標	目標	R7実績	評価
環境学習を実施した学校数	55校	55校	良好
取組の実績			
地域の特性に合わせ、自然の中で行う体験活動などの環境学習を推進しました。参加者からは、「自然豊かな環境の中で、貴重な体験を行った」「教科書を読むだけでは学習できない体験学習ができた」等の声が寄せられました。			

【成果指標の評価】

NO.	指標の内容	指標の対象	実績値					第4期目標値(達成率)	評価	出典(調査名等)
			R6	R7	R8	R9	R10			
15	「学校では、体験活動や交流活動をしている」と回答する児童生徒の割合	児童(小5～小6)	86%	87%				88%(99%)	達成	保
		生徒(中1～中3)	81%	81%				82%(99%)	達成	保

【参考】

NO.	指標の内容	指標の対象	実績値					出典(調査名等)
			R6	R7	R8	R9	R10	
19 新規	「ボランティアや福祉体験、集団宿泊、自然体験、文化芸術の鑑賞など、体験的な活動をしたことがある」と回答する児童生徒の割合	児童(小6)	—	79%				各 独自アンケート(政)
		生徒(中3)	—	64%				各 独自アンケート(政)

▶ 施策7 望ましい生活習慣を身に付ける取組の推進

健全な生活習慣を身に付けるために、検診や調査に基づき、一人ひとりの実態に応じた指導・支援を行います。

また、家庭・園・学校が一体となって、「早寝・早起き・朝ごはん」などの生活習慣を身に付ける取組を進めます。

施策の評価	順 調
-------	-----

《 評 点 》

事業の評価	成果指標の評価	施策の評価
良 好 3項目 要 検 討 0項目	達 成 3項目 未 達 成 0項目	順 調
5 点 3/3(100%)	5 点 3/3(100%)	10 点

評価に対する留意事項

評価の結果は、施策の実現に向けて順調に進捗しています。

令和8年度は、学校での指導・支援により児童生徒が健全な生活習慣を身に付けられるよう、各種検診の実施とともに、各学校にてヘルシースクールの活発な取組を図る必要があります。

《 評価の詳細 》

【事業(活動指標)の評価】

事業名 : ヘルシースクール <sup>注1</sup> 推進事業			
活動指標	目標	R7実績	評価
ヘルシースクール便りの発行回数	6回	8回	良 好
体力向上、生活習慣、食生活の改善につながる各学校での取組や保健体育課主催の研修を紹介し、各学校での実践に生かすことで、ヘルシースクールを推進しました。			

注1：ヘルシースクール...子どもたちが健康について自ら考え行動し、体力の向上、生活習慣、食生活の改善を図ることができるようにする取組。

事業名 : 小児生活習慣病予防検診			
活動指標	目標	R7実績	評価
すこやか検診の実施回数	4回	4回	良 好
9月、10月、11月に、小学校5年生の肥満度20%以上または両親のどちらかが高LDL血症で現在治療中の者のうち希望者へ、一次検診を実施しました。			

【方針1】目標3 健やかな体の育成

事業名：すこやか口腔検診			
活動指標		目標	R7実績
すこやか口腔健診の実施回数		5回	5回
小学校5年生やその前後の学年で希望した学校の中から抽出した5校に実施しました。歯科医院による講話とセルフチェックを行いました。			良好

【成果指標の評価】

NO.	指標の内容	指標の対象	実績値					第4期 目標値 (達成率)	評価	出典 (調査名等)
			R6	R7	R8	R9	R10			
16	小児生活習慣病予防検診の児童の有所見率 (肥満傾向児(肥満度 20%以上) / 小学校5年生児童) (0%を目指す指標)	児童 (小5)	10%	9%				9% (100%)	達成	☒ すこやか検診結果(保)
17	「毎日、同じくらいの時刻に寝ている」と回答する児童生徒の割合	児童 (小6)	81%	82%				82% (100%)	達成	☒
		生徒 (中3)	80%	78%				82% (95%)	達成	☒

【参考】

NO.	指標の内容	指標の対象	実績値					出典 (調査名等)
			R6	R7	R8	R9	R10	
4	毎日の就寝時間 1. 9時前 2. 9～10時 3. 10～11時 4. 11～12時 5. 12時過ぎ	児童 (小1～小6)	1=17.7% 2=55.6% 3=20.4% 4=4.7% 5=1.6%	1=17.8% 2=53.6% 3=21.5% 4=4.8% 5=1.5%				☒ ライフスタイル調査(保)
		生徒 (中1～中3)	1=2.4% 2=19.3% 3=36.1% 4=28.4% 5=13.8%	1=2.3% 2=18.2% 3=37.9% 4=29.6% 5=11.3%				☒ ライフスタイル調査(保)
5	毎日の起床時間 1. 6時前 2. 6時～6時半 3. 6時半～7時 4. 7時～7時半 5. 7時半過ぎ	児童 (小1～小6)	1=10.2% 2=29.4% 3=41.4% 4=17.2% 5=1.8%	1=10.2% 2=27.3% 3=41.9% 4=17.7% 5=2.1%				☒ ライフスタイル調査(保)
		生徒 (中1～中3)	1=18.5% 2=31.9% 3=28.6% 4=18.1% 5=2.9%	1=17.3% 2=30.6% 3=30.3% 4=18.1% 5=2.8%				☒ ライフスタイル調査(保)
20 新規	「健康に過ごすために、授業で学習したことや保健室の先生などから教えられたことを普通の生活に役立てている」と回答する児童の割合	児童 (小6)	—	77%				☒

<b>▶ 施策8 食育の推進</b>
<p>望ましい食習慣を身に付けるために、調理実習や農業体験などの体験的な活動を通して、食と健康に関する興味関心を高めます。また、食品の安全性などの知識を習得し、食に関する自己管理能力の育成を推進します。さらに、給食の時間をはじめ、授業や委員会活動などに栄養教諭や学校栄養職員が積極的に関わり、「食」に関する指導の全体計画のもと、学校教育活動全体で取り組むとともに、家庭と連携して望ましい食習慣を身に付ける取組を進めます。</p>

施策の評価	順 調
-------	-----

《 評 点 》

事業の評価	成果指標の評価	施策の評価
良 好 3項目 要 検 討 0項目	達 成 4項目 未 達 成 0項目	順 調
5 点 3/3(100%)	5 点 4/4(100%)	10 点

<p><b>評価に対する留意事項</b>                  評価の結果は、施策の実現に向けて順調に進捗しています。                  令和8年度は、児童生徒が食に関心を持ち、望ましい食習慣を身に付けられるよう、各学校でのヘルシースクールの取組を推進するとともに、地産地消等給食の質と量を確保する必要があります。</p>
---

《 評価の詳細 》

【事業(活動指標)の評価】

事業名：ヘルシースクール推進事業			
活動指標	目標	R7実績	評価
ヘルシースクール便りの発行回数〈再掲〉	6回	8回	良 好
取組の実績			
体力向上、生活習慣、食生活の改善につながる各学校での取組や保健体育課主催の研修を紹介し、各学校での実践に生かすことで、ヘルシースクールを推進しました。			

【方針1】目標3 健やかな体の育成

事業名：学校給食運営事業			
活動指標	目標	R7実績	評価
地場産物使用率(11月のうち1日)	70%以上	74.8%	良好
取組の実績			
各学校が、地産地消の取組の中で、地場産の食品を積極的に使用しました。また、地産地消献立の紹介を行うことで、食育を推進しました。			

事業名：教職員等研修事業			
活動指標	目標	R7実績	評価
研修会の実施回数	6回	6回	良好
取組の実績			
各学校の教職員を対象に、現場の課題や教科横断的な食育の推進についての研修を実施しました。			

【成果指標の評価】

NO.	指標の内容	指標の対象	実績値					第4期 目標値 (達成率)	評価	出典 (調査名等)
			R6	R7	R8	R9	R10			
18	「食事のとき好き嫌いをしないようにしている」と回答する児童生徒の割合	児童 (小6)	52%	53%				55% (96%)	達成	各 ライフスタイル調査(保)
		生徒 (中3)	61%	59%				61% (97%)	達成	各 ライフスタイル調査(保)
19	「朝食を1週間にまったく食べない」と回答する児童生徒の割合  (0%を目指す指標)	児童 (小6)	2%	2%				2% (100%)	達成	各 ライフスタイル調査(保)
		生徒 (中3)	4%	4%				3% (99%)	達成	各 ライフスタイル調査(保)

【参考】

NO.	指標の内容	指標の対象	実績値					出典 (調査名等)
			R6	R7	R8	R9	R10	
21 新規	「食に関心を持ち、栄養やマナーなどを意識して食べている」と回答する児童生徒の割合	児童 (小6)	—	85%				各 独自アンケート(政)
		生徒 (中3)	—	84%				各 独自アンケート(政)

▶ 施策9 運動やスポーツに親しむ機会の充実

生涯を通じて健康な生活を送れるよう、関係部署や関係機関と連携し、子どもが運動やスポーツに親しむ機会を充実させます。

施策の評価	順 調
-------	-----

《 評 点 》

事業の評価	成果指標の評価	施策の評価
良 好 3項目 要 検 討 0項目	達 成 4項目 未 達 成 0項目	順 調
5点 3/3(100%)	5点 4/4(100%)	10点

**評価に対する留意事項**

評価の結果は、施策の実現に向けて順調に進捗しています。

令和8年度は、児童生徒の体力向上に向け、教職員研修や企業と連携した取組により教職員の更なる指導力向上を図るとともに、各学校における新体力テストの結果の分析から、どの種目(運動領域)を向上させる必要があるかを把握し、その改善のための具体的な取組を考え、実践していく必要があります。

《 評価の詳細 》

【事業(活動指標)の評価】

事業名：ヘルシースクール推進事業			
活動指標	目標	R7実績	評価
ヘルシースクール便りの発行回数〈再掲〉	6回	8回	良 好
取組の実績			
体力向上、生活習慣、食生活の改善につながる各学校での取組や保健体育課主催の研修を紹介し、各学校での実践に生かすことで、ヘルシースクールを推進しました。			

事業名：体力向上推進事業			
活動指標	目標	R7実績	評価
企業と連携した体育授業の実施回数	23回	23回	良 好
取組の実績			
プロアスリートまたはアカデミーコーチによる専門的な指導を通して、児童へ競技の楽しさを伝えるとともに、基本的な運動技能獲得に向けた教員の指導力向上に役立てることで、児童の体力向上を図りました。			

【方針1】目標3 健やかな体の育成

事業名：教職員等研修事業			
活動指標	目標	R7実績	評価
授業力向上応援プロジェクトへの参加者数	5人	6人	良好
取組の実績			
学校からの依頼をもとに、小学校、中学校、義務教育学校の職員の指導に対する悩み相談や授業改善について助言等を行うことで、授業力の向上を図りました。			

【成果指標の評価】

NO.	指標の内容	指標の対象	実績値					第4期 目標値 (達成率)	評価	出典 (調査名等)
			R6	R7	R8	R9	R10			
20	「大人になってもスポーツをしたいと思う」と回答する児童生徒の割合	児童 (小6)	74%	73%				75% (97%)	達成	各 ライフスタイル 調査(保)
		生徒 (中3)	71%	71%				75% (95%)	達成	各 ライフスタイル 調査(保)
21	「日頃から運動やスポーツに親しんでいる」と回答する児童生徒の割合	児童 (小5~小6)	71%	74%				75% (99%)	達成	保
		生徒 (中1~中3)	72%	73%				75% (97%)	達成	保

【参考】

NO.	指標の内容	指標の対象	実績値					出典 (調査名等)
			R6	R7	R8	R9	R10	
6	新体力テストの総合 得点 Tスコア <sup>注1</sup>	児童(男子)	47	47				各 新体力テスト(保)
		児童(女子)	46.9	46.9				各 新体力テスト(保)
		生徒(男子)	47.4	47.8				各 新体力テスト(保)
		生徒(女子)	47.2	48.1				各 新体力テスト(保)

注1：Tスコア…偏差値のことで、全国平均値を50とした場合の市平均値を示している。

**▶ 施策10 社会的・職業的自立**

子ども一人ひとりが自分らしい生き方を実現していくキャリア発達を促進するために、社会的・職業的な自立に向けて必要となる基礎的な能力や態度を、教育活動全体を通じて育成します。外国人児童生徒にも適切に進路を選択できるよう、進路指導を丁寧に行います。

施策の評価	順 調
-------	-----

《評 点》

事業の評価	成果指標の評価	施策の評価
良 好 2項目 要 検 討 0項目	達 成 4項目 未 達 成 0項目	順 調
5 点 2/2(100%)	5 点 4/4(100%)	10 点

**評価に対する留意事項**  
 施策の評価は、施策の実現に向けて順調に進捗しています。  
 令和8年度は、児童生徒のキャリア発達を促進するため、引き続きキャリアパスポートを活用するとともに、地域や企業との連携による職業体験活動や講話の充実を図る必要があります。

《評価の詳細》

【事業(活動指標)の評価】

事業名：学習支援推進事業			
活動指標	目標	R7実績	評価
体験活動(講話・交流)を実施した学校数(再掲)	55校	55校	良 好
他校での活動内容を共有することで活動の幅を広げ、様々な交流・体験活動の実施により学習支援を行いました。学校に合った支援ができるよう、支援を続けていきます。			

事業名：進路学習事業			
活動指標	目標	R7実績	評価
キャリアパスポート <sup>注1</sup> の利用率	100%	100%	良 好
取組の実績			
児童生徒が目標や自身の振り返りを記録し、次の目標や将来の展望について考える機会として、キャリアパスポートを活用することを通して、進路学習を行いました。外国人児童生徒へは、適宜通訳やAI翻訳機を活用した進路指導を行いました。			

注1：キャリアパスポート…児童生徒が、小学校から高等学校までのキャリア教育に関わる諸活動について、特別活動の学級活動及びホームルーム活動を中心として、各教科等と往還し、自らの学習状況やキャリア形成を見通したり振り返ったりしながら、自身の変容や成長を自己評価できるように工夫されたポートフォリオのこと。

【方針1】目標4 社会の変化に対応できる資質・能力の育成

【成果指標の評価】

NO.	指標の内容	指標の対象	実績値					第4期 目標値 (達成率)	評価	出典 (調査名等)
			R6	R7	R8	R9	R10			
22	「将来の夢や目標を持っている」と回答する児童生徒の割合	児童 (小6)	82%	82%				85% (98%)	達成	学
		生徒 (中3)	65%	65%				70% (93%)	達成	学
23	「人の役に立つ人間になりたいと思う」と回答する児童生徒の割合	児童 (小6)	94%	96%				96% (100%)	達成	学
		生徒 (中3)	93%	94%				95% (100%)	達成	学

▶ 施策 11 社会参画意識の醸成

特別活動や社会科を中心に主権者教育に取り組み、社会の出来事に興味・関心を持つたり、防災教育、環境学習などを通して、市川を中心とした地域の自然のありさま、歴史の歩みを学んだりすることによって、地域や社会の特色を理解し、主体的に地域や社会の形成に参画する意識を醸成します。

施策の評価	順 調
-------	-----

《 評 点 》

事業の評価	成果指標の評価	施策の評価
良 好 4 項目 要 検 討 0 項目	達 成 4 項目 未 達 成 0 項目	順 調
5 点 4/4(100%)	5 点 4/4(100%)	10 点

評価に対する留意事項

評価の結果は、施策の実現に向けて順調に進捗しています。

令和8年度は、児童生徒が主体的に地域や社会の形成に参画する意識を醸成するため、「わたしたちの市川」を中心とした郷土学習の充実とともに、若年層の社会教育への関心や参画を広げた新しい地域づくりの振興を図る必要があります。

《 評価の詳細 》

【事業(活動指標)の評価】

事業名 : 社会科副読本等製作事業(郷土学習情報化研究会)			
活動指標	目標	R7実績	評価
社会科副読本「わたしたちの市川」の改定計画	児童用副読本の改訂	児童用副読本の改訂 指導解説資料の改訂	良 好
取組の実績			
社会科副読本「わたしたちの市川」の内容の確認、数値データの更新、写真の変更等を行いました。また、指導解説資料の内容の確認及び改訂を行いました。			

【方針1】目標4 社会の変化に対応できる資質・能力の育成

事業名：博物館展示・教育普及事業			
活動指標	目標	R7実績	評価
市立博物館の入館者数	157,000人	141,979人	良好
取組の実績			
自然博物館はLED照明改修工事により、約2か月の休館期間がありましたが、博物館全体としては概ね目標を達成しました。また、ボランティアの方々や友の会と連携し、博物館資料の普及活動を進めました。			

事業名：公民館主催講座活動事業			
活動指標	目標	R7実績	評価
講座の実施数	200講座	204講座	良好
取組の実績			
歴史博物館学芸員による「地域の歴史 木下街道と旧中山道の今昔」「江戸～昭和へ変遷する国府台地域」や街歩きによる「発見！このまち～中山・若宮」行徳近郊緑地（鳥獣保護区）の自然を観察する「野鳥の楽園に集まるいきもののお話し」等、多様なテーマから市内各地域の歴史や文化を学ぶ講座を実施しました。			

事業名：防災教育推進事業			
活動指標	目標	R7実績	評価
防災教育に日に合わせて取組を実施する学校数	55校	55校	良好
取組の実績			
防災朝会の実施だけでなく、シェイクアウト基本行動訓練や各学校の実態に合わせた指導を実施し、防災に対する意識の醸成を図りました。			

【成果指標の評価】

NO.	指標の内容	指標の対象	実績値					第4期目標値	評価	出典 (調査名等)
			R6	R7	R8	R9	R10			
24	「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う」と回答する児童生徒の割合	児童(小6)	78%	79%				80% (99%)	達成	学
		生徒(中3)	72%	70%				72% (97%)	達成	学
25	「あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会(学級活動)で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている」と回答する児童生徒の割合	児童(小6)	78%	78%				80% (98%)	達成	学
		生徒(中3)	82%	79%				80% (99%)	達成	学

<b>▶ 施策 12 グローバル人材育成</b>
<p>外国語への興味・関心を高め、外国語を活用したコミュニケーション能力を育成するため、外国語活動や外国語教育の内容充実を図るとともに、学びの連続性が図られるよう、小中学校の連携を強化します。</p> <p>また、多角的な視点をもって主体的に行動できるように、外国や地域の歴史・文化・生活習慣を学ぶ機会を充実させます。</p>

<b>施策の評価</b>	<b>順 調</b>
--------------	------------

《 評 点 》

事業の評価	成果指標の評価	施策の評価
良 好 5項目 要 検 討 0項目	達 成 5項目 未 達 成 0項目	順 調
5 点 5/5(100%)	5 点 5/5(100%)	10 点

**評価に対する留意事項**

評価の結果は、施策の実現に向けて順調に進捗しています。

令和 8 年度は、児童生徒の英語力の向上に向け、小中のつながりを意識した外国語活動や外国語教育の充実とともに、ALT の配置による質の高い学習を図る必要があります。

《 評価の詳細 》

【事業(活動指標)の評価】

<b>事業名 : 小学校外国語活動推進事業(小学校外国語活動指導員の派遣)</b>			
活動指標	目標	R7実績	評価
指導員の派遣回数	34	34	<b>良 好</b>
取組の実績			
外国語活動指導員の派遣を通じ、児童の負担にならない範囲で、英語による授業を担当等とチーム・ティーチングで行うことで、児童のコミュニケーションの能力の向上を図りました。			

<b>事業名 : 外国語指導助手(ALT)派遣事業</b>			
活動指標	目標	R7実績	評価
外国語指導助手(ALT)の配置した学校数	16	16	<b>良 好</b>
取組の実績			
市立中学校、義務教育学校に各 1 人ずつ配置を行うことで、生徒のコミュニケーションの育成を行いました。			

【方針1】目標4 社会の変化に対応できる資質・能力の育成

事業名：国際理解教育の推進			
活動指標	目標	R7実績	評価
外国語指導助手(ALT)がチーム・ティーチングを行った授業数	各クラス週1回	各クラス週1回	良好
取組の実績			
英語担当教員とのチーム・ティーチングを行い、生徒のコミュニケーション能力の育成及び国際理解教育の推進を行いました。また、小学校や特別支援学校にも派遣を行うことで、ネイティブの英語に触れ合う機会を増やしました。			

事業名：公民館主催講座活動事業			
活動指標	目標	R7実績	評価
講座の実施数〈再掲〉	200講座	204講座	良好
取組の実績			
世界遺産を通じて各地の歴史や文化を学ぶ「楽しく知る 南ヨーロッパの文化遺産」「世界遺産で学ぶ食文化・神話・建築史」や調理実習形式による「男の料理 学ぼう！イタリアの家庭料理」や「シュトーレンでメリークリスマス」、「中学英語で十分です！」「学び直そう綺麗な英語を!!」を実施しました。			

事業名：青少年教育国際交流事業			
活動指標	目標	R7実績	評価
中学生海外派遣回数	1回	1回	良好
取組の実績			
市内中学校の生徒16人と、メートヒェン・リアルシュレー校(パートナーシティであるドイツ連邦共和国ローゼンハイム市内の学校)の生徒16人がそれぞれの国を訪れ、ホームステイやスクリーニングを通して文化や言葉の違いを肌で感じることで、国際理解教育の推進と日独友好関係の推進を図りました。			

【成果指標の評価】

NO.	指標の内容	指標の対象	実績値					第4期目標値(達成率)	評価	出典(調査名等)
			R6	R7	R8	R9	R10			
26	英語力について、中学校卒業段階でCEFR <sup>注1</sup> のA1レベル相当以上の英語力を有すると思われる中学生の割合	生徒(中3)	63%	65%				70%(93%)	達成	各調査(指)
27	「外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知りたいと思う」と回答する児童生徒の割合	児童(小6)	69%	71%				75%(95%)	達成	各独自アンケート(政)
		生徒(中3)	71%	72%				75%(96%)	達成	各独自アンケート(政)
28	「日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思う」と回答する児童生徒の割合	児童(小6)	72%	73%				75%(97%)	達成	各独自アンケート(政)
		生徒(中3)	65%	66%				70%(94%)	達成	各独自アンケート(政)

注1：CEFR・・・「Common European Framework of Reference for Languages」の略称で、欧州評議会(Council of Europe)が示す、外国語学習や教授等のためのヨーロッパ言語共通参照枠を言う。CEFRのA1レベルは実用英語技能検定では3級に相当する。

▶ 施策13 児童生徒の情報活用能力の向上

学習におけるICT活用の日常化を進めるとともに、学習の基盤となる資質・能力である情報活用能力を教科横断的な視点で育みます。

また、情報モラル教育を推進し、情報技術を適切かつ効果的に活用する力、情報社会に主体的に参画しようとする態度を育みます。

施策の評価	概ね順調
-------	------

《評点》

事業の評価	成果指標の評価	施策の評価
良好 4項目 要検討 1項目	達成 2項目 未達成 2項目	概ね順調
4点 4/5(80%)	2点 2/4(50%)	6点

評価に対する留意事項

評価の結果は、施策の実現に向けて概ね順調に進捗しています。

令和8年度は、児童生徒の情報活用能力向上のため、情報センターとしての学校図書館の活用推進とともに、ICTを使った質の高い授業の提供を行う必要があります。

《評価の詳細》

【事業(活動指標)の評価】

事業名：教職員等研修事業			
活動指標	目標	R7実績	評価
研修会の実施回数	3回	3回	良好
取組の実績			
情報セキュリティポリシーの内容理解やICTの具体的な活用事例を共有するため、教職員対象の研修会を実施しました。現場での実践的な活用を促進することで、児童生徒の情報能力の向上を図りました。			

事業名：学校図書館支援事業			
活動指標	目標	R7実績	評価
図書館支援通信の発行回数	9回	9回	良好
取組の実績			
各学校の学校図書館を活用した取組や、中央図書館、ボランティア団体等と連携した取組について紹介することで、学校図書館の活性化を図りました。			

【方針2】目標5 ICTの活用推進

事業名：少年補導活動事業(ネットパトロールを含む)			
活動指標	目標	R7実績	評価
ネットパトロール実施回数	12回	12回	良好
取組の実績			
千葉県が行っているネットパトロールの結果及び啓発資料について、各学校への周知を図りました。			

事業名：インターネットトラブル防止出張事業・研修の実施			
活動指標	目標	R7実績	評価
出張授業の実施回数	60回	48回	要検討
取組の実績			
実施回数は目標を下回りましたが、インターネットトラブル防止出張事業の参加人数は前年度と比べて約2,000人増加しました。			

事業名：GIGAスクール推進事業			
活動指標	目標	R7実績	評価
研修会の実施回数	2回	2回	良好
取組の実績			
夏季休業中に「NextGIGA 研修会」「プログラミング研修会」を実施し、子どもたちの学びの状況に合わせた活用についての周知を図ることで、GIGA スクールを推進しました。			

【成果指標の評価】

NO.	指標の内容	指標の対象	実績値					第4期 目標値 (達成率)	評価	出典 (調査名等)
			R6	R7	R8	R9	R10			
29	「毎日の学習で、タブレットを活用している」と回答する児童生徒の割合	児童 (小5~小6)	78%	78%				90% (87%)	未達成	保
		生徒 (中1~中3)	55%	58%				75% (77%)	未達成	保
30	「学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思う」と回答する児童生徒の割合	児童 (小6)	94%	94%				95% (99%)	達成	各 独自アンケート(政)
		生徒 (中3)	90%	86%				95% (91%)	達成	各 独自アンケート(政)

【参考】

NO.	指標の内容	指標の対象	実績値					出典 (調査名等)
			R6	R7	R8	R9	R10	
22 新規	「ICT機器を使って情報整理ができる」と回答する児童生徒の割合	児童 (小6)	—	65				学
		生徒 (中3)	—	54				学

<b>▶ 施策 14 教育の ICT 環境整備の充実</b>
<p>校内ネットワーク環境の再構築に取り組み、教育のICT環境の充実を図ります。 また、多様な子どもたちが個性に合った学びができるよう、ICT 機器を活用できる環境を整えます。</p>

<b>施策の評価</b>	やや遅れあり
--------------	--------

《 評 点 》

事業の評価	成果指標の評価	施策の評価
良 好 2項目 要 検 討 0項目	達 成 0項目 未 達 成 2項目	やや遅れあり
5 点 2/2(100%)	0 点 0/2(0%)	5 点

<p><b>評価に対する留意事項</b>                  評価の結果は、施策の実現に向けてやや遅れがあります。                  令和8年度は、学習や校務を行う上で必要な ICT 環境の整備に向け、タブレット端末の計画的な導入とともに、個の学びに応じた活用のために整備すべき環境を見出す必要があります。</p>
--

《 評価の詳細 》

【事業(活動指標)の評価】

<b>事業名 : 学校情報化研究事業</b>			
活動指標	目標	R7実績	評価
タブレット端末の導入割合〈再掲〉	100%	100%	<b>良 好</b>
取組の実績			
12月中に小学校1年生への新規端末の配付を行い、1人1台端末の設置を完了するとともに、端末の更新を行いました。今後は次年度の小学1年生へ配付するとともに、すべての端末の更新を行っていきます。			

【方針2】目標5 ICTの活用推進

事業名：教職員等研修事業			
活動指標	目標	R7実績	評価
ICT研修会の参加者数	70人	117人	良好
取組の実績			
教務主任・教頭を対象に校務支援システムの使用方法について研修会を行いました。また、希望者を対象にICT支援員によるオンライン研修を行いました。			

【成果指標の評価】

NO.	指標の内容	指標の対象	実績値					第4期 目標値 (達成率)	評価	出典 (調査名等)
			R6	R7	R8	R9	R10			
31	「ICT環境は使いやすい状況にある」と回答する教職員の割合	教職員	55%	37%				80% (46%)	未達成	各 ICT機器活用 アンケート (セ)
32	ICT支援員への満足度	教職員	70%	71%				80% (89%)	未達成	各 ICT利活用 支援業務委託 報告書(セ)

<b>▶ 施策 15 教職員の ICT 活用指導力の向上</b>
ICT活用指導力において学校間や教職員間の水準を維持することはもとより、ICT活用指導力の向上を目指し、教職員研修の充実を図るなど、学校を支援する体制を整えます。

<b>施策の評価</b>	<b>概ね順調</b>
--------------	-------------

《評 点》

事業の評価	成果指標の評価	施策の評価
良 好 4項目 要 検 討 0項目	達 成 2項目 未 達 成 4項目	概ね順調
5点 4/4(100%)	1点 2/6(33%)	6点

**評価に対する留意事項**

評価の結果は、施策の実現に向けて概ね順調に進捗しています。  
令和8年度は、教職員が必要な場面でICT環境を有効に活用できるよう、研修会の開催やICT支援員によるサポートの充実を図る必要があります。

《評価の詳細》

【事業(活動指標)の評価】

<b>事業名 : 学校情報化研究事業</b>			
活動指標	目標	R7実績	評価
ICT支援員の学校訪問支援時間	10,440時間	10,440時間	<b>良 好</b>
取組の実績			
ICT支援員の月2回の訪問を実施するとともに、オンラインでのサポートを行いました。			

<b>事業名 : 教職員等研修事業</b>			
活動指標	目標	R7実績	評価
ICT研修会の参加者数	70人	80人	<b>良 好</b>
取組の実績			
「タブレット端末の活用研修会」を4回実施し、教職員のICTを活用した授業力向上につなげました。			

事業名：GIGAスクール推進事業			
活動指標	目標	R7実績	評価
研修会の実施回数〈再掲〉	2回	2回	良好
取組の実績			
夏季休業中に「NextGIGA 研修会」「プログラミング研修会」を実施し、教職員の学習用端末の活用促進を図りました。			

事業名：指導用デジタル教科書活用推進事業			
活動指標	目標	R7実績	評価
デジタル教科書購入計画	中学校指導者用デジタル教科書(音楽以外) 小学校指導者用デジタル教科書(国語・音楽以外)	中学校指導者用デジタル教科書(音楽以外) 小学校指導者用デジタル教科書(国語・音楽以外)	良好
取組の実績			
令和7年度中学校教科書改訂に伴い、国語、書写、数学、理科、社会、地図、外国語、美術、保健、道徳、家庭、技術の指導者用デジタル教科書を導入し、市内全校の登録を行うことで、活用の推進を図りました。			

【成果指標の評価】

NO.	指標の内容	指標の対象	実績値					第4期目標値(達成率)	評価	出典(調査名等)
			R6	R7	R8	R9	R10			
33	教育センターが行っている情報教育に関する研修会を受けて、「授業で活用できる」と回答する教職員の割合	教職員	99%	100%				100%(100%)	達成	各 研修会アンケート(セ)
34	児童生徒一人ひとりの特性や理解度・進度に合わせて課題に取り組む場面でのICT機器の活用頻度	教職員(小)	66%	60%				80%(75%)	未達成	各 独自アンケート(政)
		教職員(中)	57%	53%				70%(76%)	未達成	各 独自アンケート(政)
		教職員(義)	56%	49%				75%(65%)	未達成	各 独自アンケート(政)
		教職員(特)	65%	56%				80%(70%)	未達成	各 独自アンケート(政)
		教職員(幼)	29%	33%				36%(92%)	達成	各 独自アンケート(政)

【参考】

NO.	指標の内容	指標の対象	実績値					出典(調査名等)
			R6	R7	R8	R9	R10	
23 新規	「必要な場面でICT機器を問題なく使えている」と回答する教職員の割合	教職員(小)	—	66%				各 独自アンケート(政)
		教職員(中)	—	57%				各 独自アンケート(政)
		教職員(義)	—	70%				各 独自アンケート(政)
		教職員(特)	—	68%				各 独自アンケート(政)

<b>▶ 施策 16 働き方改革の推進</b>
<p>教職員が、授業やその準備に集中できる時間や自らの専門性を高めるための時間、児童生徒と向き合うための時間を十分確保し、本来担うべき業務に専念することにより、教育の質を高められるよう、校務のDX(デジタルトランスフォーメーション)を進めるとともに、地域学校協働活動推進員と連携し、家庭・地域とそれぞれの役割を共通理解し、分担することで、多忙化解消を図ります。</p> <p>また、教職員の専門性を高めつつ、質の高い教科指導を目指す、チーム・ティーチングや小学校の教科担任制の取組を、働き方改革の観点からも進めます。</p>

<b>施策の評価</b>	<b>順 調</b>
--------------	------------

《 評 点 》

事業の評価	成果指標の評価	施策の評価
良 好 6項目 要 検 討 0項目	達 成 6項目 未 達 成 0項目	順 調
5 点 6/6(100%)	5 点 6/6(100%)	10 点

**評価に対する留意事項**

評価の結果は、施策の実現に向けて順調に進捗しています。  
 令和 8 年度は、教職員が授業や児童生徒と向き合うための時間の確保に向け、コミュニティ・スクールの活性化により家庭・地域との役割分担を推進するとともに、現場に即した計画的な業務改善を推進する必要があります。

《 評価の詳細 》

【事業(活動指標)の評価】

<b>事業名 : コミュニティ・スクール推進事業</b>			
活動指標	目標	R7実績	評価
地域学校協働活動推進員を複数配置している学校数	52 校	52 校	良 好
取組の実績			
すべての中学校ブロックにおいて協働活動を実施することで、コミュニティ・スクールを推進しました。また、保護者だけでなく、地域人材を学校の教育活動に継続的に入ることができるよう、年 3 回の研修を行いました。			

<b>事業名 : スクール・サポート・スタッフ事業</b>			
活動指標	目標	R7実績	評価
みらいサポーターの派遣学校数	55 校	55 校	良 好
取組の実績			
小学校には各 3 人、中学校、特別支援学校には各 1 人を基本として派遣を行いました。校内教育支援センターの運営支援や各学校において個別に配慮が必要な児童生徒への支援について、教職員と連携して行いました。			

事業名：学校問題対策事業			
活動指標	目標	R7実績	評価
予算執行率	90%	100%	良好
取組の実績			
医師、弁護士、大学教授及び人権擁護委員等を対象とした相談を年間 28 回行いました。専門的知見からの配慮を要する対応が必要な学校や保護者等からの相談に対して、専門家からのアドバイスが功を奏しました。			

事業名：学校情報化研究事業			
活動指標	目標	R7実績	評価
ICT 支援員派遣の実施計画	派遣数の現状維持	派遣数の現状維持	良好
取組の実績			
教職員の必要に応じた校務支援システムの研修会の開催や支援員の派遣(月 10 回)を行いました。また、学校への訪問支援を行いました。			

事業名：業務改善推進事業			
活動指標	目標	R7実績	評価
業務改善推進の実施計画	全校の卒業証書の印刷製本を市内で一括依頼	全校の卒業証書の印刷製本を市内で一括依頼	良好
取組の実績			
すべての小中学校(夜間中学含む)、義務教育学校、特別支援学校(高等部含む)において、卒業証書の一括印刷を教育委員会が業者へ依頼し、学校への配付を行うことで、業務の効率化を図りました。			

事業名：教科担任制の推進			
活動指標	目標	R7実績	評価
小学校における専科教員の配置人数	22 人	21 人	良好
取組の実績			
主に小学校高学年に一部教科担任制を設け、学年内で担当教科を決め複数の学級で同じ教科の授業を実施し、授業準備の負担軽減を図るとともに教科の専門性を高めました。			

【成果指標の評価】

NO.	指標の内容	指標の対象	実績値					第 4 期 目標値 (達成率)	評価	出典 (調査名等)
			R6	R7	R8	R9	R10			
35	「子どもとじっくり向き合おうことができていると思う」と回答する教職員の割合	教職員(小)	78%	80%				80% (100%)	達成	各独自アンケート(政)
		教職員(中)	74%	74%				75% (99%)	達成	各独自アンケート(政)
		教職員(義)	85%	76%				80% (95%)	達成	各独自アンケート(政)
		教職員(特)	95%	92%				100% (92%)	達成	各独自アンケート(政)
		教職員(幼)	97%	97%				100% (97%)	達成	各独自アンケート(政)
36	市川市公立学校の教職員の 1 か月当たりの超過勤務時間が 80 時間を超えた割合 (0%を目指す指標)	教職員	1%	1%				1% (100%)	達成	各超過勤務者月毎報告(義)

【参考】

NO.	指標の内容	指標の対象	実績値					出典 (調査名等)
			R6	R7	R8	R9	R10	
24 新規	「校務の効率化や家庭・地域の協力により、以前より授業の準備や子どもと向き合う時間をとれている」と回答する教職員の割合	教職員(小)	—	58%				各独自アンケート(政)
		教職員(中)	—	52%				各独自アンケート(政)
		教職員(義)	—	59%				各独自アンケート(政)
		教職員(特)	—	79%				各独自アンケート(政)

<b>▶ 施策 17 教職員の指導力の向上</b>
<p>子どもの確かな学力の育成や個性の伸長等を図るため、教職員の学習指導力と生徒指導力の向上に取り組みます。</p> <p>若年層教職員の指導力向上やミドルリーダーの育成に関する研修を重点的に実施し、教職員全体の資質・能力の向上を図ります。</p>

<b>施策の評価</b>	<b>順 調</b>
--------------	------------

《 評 点 》

事業の評価	成果指標の評価	施策の評価
良 好 4項目 要 検 討 0項目	達 成 6項目 未 達 成 0項目	順 調
5 点 4/4(100%)	5 点 6/6(100%)	10 点

**評価に対する留意事項**

評価の結果は、施策の実現に向けて順調に進捗しています。

令和8年度は、教職員が、児童生徒や学校・地域の実態に合わせた指導を行うことができるよう、次期学習指導要領を見据えた教職員研修の実施や ICT 支援員による支援の充実を図る必要があります。

《 評価の詳細 》

【事業(活動指標)の評価】

<b>事業名 : 教職員等研修事業</b>			
活動指標	目標	R7実績	評価
希望研修の参加人数	110人	397人	<b>良 好</b>
取組の実績			
教科指導に関わる研修では、演習や実践報告を中心に実施しました。ミドルリーダーを対象とした研修では、カリキュラムマネジメントの考え方と進め方の講演を聞くとともに、教育課程の編成、自校の課題の解決に向けた取組の協議を行うことで、指導力やミドルリーダーの資質・能力の向上を図りました。			

<b>事業名 : 訪問指導事業</b>			
活動指標	目標	R7実績	評価
学校への訪問指導回数	400回	395回	<b>良 好</b>
取組の実績			
学校への訪問を通じて、主体的・対話的で深い学びを実現するための魅力ある授業づくりや授業の基本、評価のポイントについて教員への助言を行いました。			

事業名：学校情報化研究事業			
活動指標	目標	R7実績	評価
ICT支援員派遣の実施計画〈再掲〉	派遣数の現状維持	派遣数の現状維持	良好
取組の実績			
教職員の必要に応じた校務支援システムの研修会の開催や支援員の派遣(月10回)を行いました。また、学校への訪問支援を行うことで、学校の情報化を推進しました。			

事業名：教育広報活動事業			
活動指標	目標	R7実績	評価
教育いちかわの発行回数	12回	12回	良好
取組の実績			
年間12回(拡大版:2回、ブログ版:10回)の発行を行い、教育委員会の取組や研修、学校の様子等の広報活動を行いました。今後は運用を整理し、発信する情報の精選を行っていきます。			

【成果指標の評価】

NO	指標の内容	指標の対象	実績値					第4期 目標値 (達成率)	評価	出典 (調査名等)
			R6	R7	R8	R9	R10			
37	「学校生活の中で、児童生徒一人一人のよい点や可能性を見付け評価する(褒めるなど)取組を行った」と回答する学校の割合	小学校	100%	100%				100% (100%)	達成	各 独自アンケート(政)
		中学校	100%	100%				100% (100%)	達成	各 独自アンケート(政)
38	「指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせている」と回答する学校の割合	小学校	95%	95%				100% (95%)	達成	学
		中学校	100%	100%				100% (100%)	達成	学
69	「校長として、中堅・ベテラン教職員に対し、ミドルリーダーの育成を意識した指導・助言を行っている」と回答する校長の割合	小学校	98%	100%				100% (100%)	達成	各 独自アンケート(政)
		中学校	100%	100%				100% (100%)	達成	各 独自アンケート(政)

【参考】

NO.	指標の内容	指標の対象	実績値					出典 (調査名等)
			R6	R7	R8	R9	R10	
25 新規	「教科指導や生徒指導、学級(学校)経営などを児童生徒の実態、学校や地域の実態に合わせて行うことができている」と回答する教職員の割合	教職員(小)	—	91%				各 独自アンケート(政)
		教職員(中)	—	84%				各 独自アンケート(政)
		教職員(義)	—	92%				各 独自アンケート(政)
		教職員(特)	—	96%				各 独自アンケート(政)

<p><b>▶ 施策 18 安全・安心で質の高い教育環境の整備</b></p> <p>特色ある学校づくりを実現するために、各学校が作成する「学校の教育計画」に基づいた主体的な取組を支援するとともに、特色ある教育活動の先進事例を提供します。</p> <p>安全で質の高い教育環境の実現のために、学校の建替えや社会教育施設の老朽化に伴う改修を計画的に進めます。</p> <p>また、関係部署等と連携し、学校の交通安全の指導や防犯機能の強化を進めます。あわせて、現代の環境に合わせた教育環境の整備を進めます。</p> <p>さらに、学校が子どもにとって安心して過ごすことができ、教職員も安心して働くことができる場となるような環境づくりを進めます。</p>
--

<p>施策の評価</p>	<p>順 調</p>
--------------	------------

《 評 点 》

<p>事業の評価</p> <p>良 好 6項目 要 検 討 0項目</p> <p>5 点 6/6(100%)</p>	<p>成果指標の評価</p> <p>達 成 7項目 未 達 成 0項目</p> <p>5 点 7/7(100%)</p>	<p>施策の評価</p> <p>順 調</p> <p>10 点</p>
--	--	-------------------------------------

<p><b>評価に対する留意事項</b></p> <p>評価の結果は、施策の実現に向けて順調に進捗しています。</p> <p>令和8年度は、安全で質の高い教育環境の実現に向け、教室へのエアコン設置やトイレ改修等とともに、小学校等に電子錠を設置するなど、児童の安全確保に資する環境を整備する必要があります。</p>
--

《 評価の詳細 》

【事業(活動指標)の評価】

<p>事業名：創意と活力のある学校づくり事業</p>			
活動指標	目標	R7実績	評価
創意と活力のある学校づくりを進めている校長・園長の割合〈再掲〉	100%	100%	良 好
取組の実績			
<p>各校長・園長が推進計画書を作成し、10月に進捗状況を確認する面接を行い、3月に報告書を提出することで、各学校・園において創意と活力のある学校づくりを推進しました。</p>			

<p>事業名：安心・安全な学校づくりの推進</p>			
活動指標	目標	R7実績	評価
「学校は安全で安心な職場環境だと思う」と回答する教職員の割合 (小学校、中学校、義務教育学校、特別支援学校)	87%	89%	良 好
取組の実績			
<p>学校・保護者及び地域から寄せられた多岐にわたる相談へ適宜対応することで、安心・安全な学校づくりを推進しました。令和7年度は、特に保護者の対応に苦慮する学校からの相談において、専門家の助言をいただきながら問題解決に向けて対応するよう努めました。</p>			

【方針1】目標1 確かな学力の育成

事業名：小・中学校営繕事業			
活動指標	目標	R7実績	評価
普通教室・特別教室エアコン整備	整備の計画	整備の計画	良好
取組の実績			
整備計画に基づき、令和7年度以降の普通エアコンを整備する学校15校(小学校9校、中学校6校)を執行し、契約の締結を行いました。			

事業名：トイレ改修事業			
活動指標	目標	R7実績	評価
第二次トイレ改修計画	小学校4校 中学校1校	小学校4校 中学校1校	良好
取組の実績			
第二次トイレ改修計画に基づき、小学校4校、中学校1校の整備を実施・完了しました。			

事業名：公民館営繕事業			
活動指標	目標	R7実績	評価
実施計画に基づく改修工事	1館2件	1館2件	良好
取組の実績			
計画していた南行徳公民館の冷暖房機改修工事及び電気設備工事(照明のLED化)をすべて執行することで、公民館利用者が安心・安全・快適に公民館を利用できるよう公民館の環境改善を図りました。			

事業名：新たな学校環境の実現			
活動指標	目標	R7実績	評価
宮田小学校建替え計画	基本構想・基本 計画の策定	設計	良好
取組の実績			
基本構想・基本計画に基づき、実施設計を行いました。令和8年度からは工事に着手します。			

【成果指標の評価】

NO.	指標の内容	指標の対象	実績値					第4期 目標値 (達成率)	評価	出典 (調査名等)
			R6	R7	R8	R9	R10			
39	「学校に行くのは楽しいと思う」と回答する児童生徒の割合	児童(小6)	83%	85%			85% (100%)	達成	学	
		生徒(中3)	85%	84%			85% (99%)	達成	学	
40	「学校は安全で安心な職場環境だ」と回答する教職員の割合	教職員(小)	90%	89%			90% (99%)	達成	各 独自アンケート(政)	
		教職員(中)	83%	83%			85% (98%)	達成	各 独自アンケート(政)	
		教職員(義)	93%	92%			93% (99%)	達成	各 独自アンケート(政)	
		教職員(特)	100%	93%			100% (93%)	達成	各 独自アンケート(政)	
		教職員(幼)	100%	100%			100% (100%)	達成	各 独自アンケート(政)	

【参考】

NO.	指標の内容	指標の対象	実績値					出典 (調査名等)
			R6	R7	R8	R9	R10	
7	「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答する児童生徒の割合	児童(小6)	86%	89%				学
		生徒(中3)	89%	90%				学

**▶ 施策 19 特別支援教育の推進**

すべての子どもが同じ場でともに学ぶことを追求しつつ、子どものよさや可能性を最大限広げられるような場や学びを保障するため、連続性のある「多様な学びの場」を整備し、組織的・継続的な指導や支援を一層充実させます。

また、早期から就園や就学に関する相談を行い、教育的ニーズに応じた支援ができるようにするとともに、ICTを活用した指導や支援を含めた学習環境の整備を進めます。

さらに、研修の充実などにより、全教職員の専門性の向上を図り、特別支援教育の視点を生かして、発達に特性がある子どもを含めたすべての子どもへの適切な指導・支援の充実を図ります。

これらを実施するにあたっては、市川市特別支援教育推進計画に基づき、取り組めます。

<b>施策の評価</b>	<b>概ね順調</b>
--------------	-------------

《 評 点 》

事業の評価	成果指標の評価	施策の評価
良 好 5項目 要 検 討 1項目	達 成 1項目 未 達 成 1項目 評価にはなじまない 3項目	概ね順調
4 点 5/6(83%)	2 点 1/2(50%)	9 点

**評価に対する留意事項**

評価の結果は、施策の実現に向けて概ね順調に進捗しています。

令和8年度は、すべての子どもの教育的ニーズに応じた学びの環境の一層の充実に向け、教職員研修会や幼稚園訪問により、連続性のある組織的な指導支援の充実を図る必要があります。

《 評価の詳細 》

【事業(活動指標)の評価】

<b>事業名 : 特別支援教育推進事業</b>			
活動指標	目標	R7実績	評価
障がい種別担当者研修会の実施回数	5回	5回	<b>良 好</b>
取組の実績			
各担当者研修会を5回実施し、ニーズに応じた内容を工夫することで、担当者の専門性の向上を図りました。経験の浅い担当者が増えることが予想されるため、5回の研修会を継続して行います。			

<b>事業名 : 特別支援学級及び通級指導教室の設置</b>			
活動指標	目標	R7実績	評価
特別支援学級設置計画	3校設置 (知的:2校、自閉症・情緒障がい:1校)	3校設置 (知的:2校、自閉症・情緒障がい:1校)	<b>良 好</b>
取組の実績			
特別支援学級設置計画に基づき、大町小学校、南新浜小学校に特別支援学級(知的)、宮久保小学校に(自閉症・情緒障がい)を設置しました。			

<b>事業名 : 特別支援学級等補助教員雇上事業</b>			
活動指標	目標	R7実績	評価
特別支援学校補助教員の設置人数	56人	56人	<b>良 好</b>
取組の実績			
特別支援学級設置校の特別支援学級に1日7時間、週5日勤務の支援員を1~2人配置しました。その他、要望のあった学校の状況を確認し、必要に応じて通常学級へ支援員を配置しました。			

【方針2】目標7 多様な教育ニーズへの対応

事業名：教職員等研修事業			
活動指標	目標	R7実績	評価
特別支援に関する研修会の実施回数	2回	2回	良好
取組の実績			
児童生徒理解に関する研修、読み書きが困難な児童に関する研修を実施することで、適切な指導・支援の充実を図りました。			

事業名：教育相談事業			
活動指標	目標	R7実績	評価
実施計画	システムの改定	システムの改定	良好
取組の実績			
児童発達支援システムを継続的に使用するために、機器等の入れ替えを行いました。			

事業名：市立幼稚園特別支援学級			
活動指標	目標	R7実績	評価
幼稚園訪問を行い、指導助言する回数	9回	4回	要検討
取組の実績			
公立幼稚園の特別支援学級(ひまわり学級)を訪問し、具体的な支援内容について指導・助言を行いました。			

【成果指標の評価】

NO.	指標の内容	指標の対象	実績値					第4期目標値(達成率)	評価	出典(調査名等)
			R6	R7	R8	R9	R10			
41	通常の学級に在籍している幼児・児童・生徒のうち、市川スマイルプラン(個別の教育支援計画)を作成している者の割合 (幼・小・中学校等の通常学級において特別な支援を必要としている幼児児童生徒のうち、市川スマイルプランが作成されている児童等の割合)	幼稚園	41%	49%				評価になじまない (作成すべき市川スマイルプランはいずれも100%であり、成果指標の評価にはなじまない。)		各特別支援教育体制整備状況調査(指)
		小学校	78%	83%						各特別支援教育体制整備状況調査(指)
		中学校	79%	86%						各特別支援教育体制整備状況調査(指)
42	「特別支援教育について理解し、前年度までに、調査対象である第6学年の児童(第3学年の生徒)に対する授業の中で、児童(生徒)の特性に応じた指導上の工夫(板書や説明の仕方、教材の工夫等)を行った」と回答する学校の割合	生徒(中3)	95%	87%				100%(87%)	未達成	学
		児童(小6)	81%	100%				100%(100%)	達成	学

【参考】

NO.	指標の内容	指標の対象	実績値					出典(調査名等)
			R6	R7	R8	R9	R10	
8	須和田の丘支援学校の児童生徒数	児童生徒	213人	231人				各調査(義)
9	特別支援学級の児童生徒数	児童生徒	697人	812人				各調査(義)
	特別支援学級の設置数	児童生徒	47学級	50学級				各調査(義)
10	通級指導教室の児童生徒数	児童生徒	301人	297人				各調査(義)
	通級指導教室の設置数	児童生徒	23教室	24教室				各調査(義)
26新規	「子どもと一人ひとりの個性を理解し、それぞれの教育的ニーズに応じた支援を行うことができている」と回答する教職員の割合	教職員(小)	—	86%				各独自アンケート(政)
		教職員(中)	—	80%				各独自アンケート(政)
		教職員(義)	—	84%				各独自アンケート(政)
		教職員(特)	—	99%				各独自アンケート(政)

▶ 施策20 不登校児童生徒への対応

不登校児童生徒やその保護者に丁寧に寄り添い、個々の児童生徒の状況や将来を見据えて、必要な支援や校内環境を充実させます。

また、子ども・医療・保健・福祉の関係部署やフリースクールなど関係機関との連携を強化します。

施策の評価	順 調
-------	-----

《評 点》

事業の評価	成果指標の評価	施策の評価
良 好 5項目 要 検 討 0項目	達 成 3項目 未 達 成 1項目	順 調
5点 5/5(100%)	3点 3/4(75%)	8点

評価に対する留意事項

評価の結果は、施策の実現に向けて順調に進捗しています。

令和8年度は、不登校児童生徒やその保護者への必要な支援の充実に向け、みらいサポーターやライフカウンセラーによる適切な支援を図るとともに、フリースクールや関係各課との連携の強化、また、教育支援センターの更なる環境整備を行う必要があります。

《評価の詳細》

【事業(活動指標)の評価】

事業名：教職員等研修事業			
活動指標	目標	R7実績	評価
研修会の実施回数	1回	1回	良好
取組の実績			
各学校の教職員へ多様な児童生徒の支援についての研修会を行い、より適切な児童生徒支援につなげました。			

事業名：みらいサポーター事業			
活動指標	目標	R7実績	評価
みらいサポーターを派遣した学校数	55校	55校	良好
取組の実績			
小学校には各3名、中学校・特別支援学校には各1名を基本として派遣を行いました。校内教育支援センターの運営支援を行い、不登校児童生徒や不登校傾向にある児童生徒への支援を行いました。			

【方針2】目標7 多様な教育ニーズへの対応

事業名：教育相談事業			
活動指標	目標	R7実績	評価
実施計画	システムの改訂	システムの改訂	良好
取組の実績			
相談受付のシステムを改訂し、特別支援学校や特別支援学級等を希望する保護者が、目的に合わせて相談を始めることができる体制を整えました。			

事業名：教育支援センター運営事業 <sup>注1</sup>			
活動指標	目標	R7実績	評価
実施計画	教育支援センター「サポートルームふれんど市川」分室設置 検討	教育支援センター「サポートルームふれんど市川」分室設置 検討	良好
取組の実績			
不登校児童生徒の増加に伴い、南部地区への教育支援センター「サポートルームふれんど市川」の分室設置について検討し、不登校児童生徒やその保護者への支援の充実を図りました。			

注1：第4期教育振興基本計画策定時の事業名「ふれんどルーム市川」より変更。

事業名：ライフカウンセラー設置事業			
活動指標	目標	R7実績	評価
ライフカウンセラーを派遣した学校数	16校	16校	良好
取組の実績			
中学校・義務教育学校全校にライフカウンセラーを設置し、生徒、保護者の相談に応じ、適切な支援を行いました。			

【成果指標の評価】

NO	指標の内容	指標の対象	実績値					第4期目標値(達成率)	評価	出典(調査名等)
			R6	R7	R8	R9	R10			
43	学校内外の機関等 <sup>注3</sup> で相談・指導等を受けていない不登校児童生徒の割合 (0%を目指す指標)	児童(小1~小6)	35%	36%				30% (91%)	達成	各 児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査(指)
		生徒(中1~中3)	28%	17%				25% (107%)	達成	各 児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査(指)
44	「困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる」と回答する児童生徒の割合	児童(小6)	62%	67%				75% (89%)	未達成	学
		生徒(中3)	66%	69%				75% (92%)	達成	学

注3：学校内外の機関等…学校内として、養護教諭やスクールカウンセラーの専門的な指導や相談。学校外として、教育センター等の教育委員会所管機関、児童相談所、保健所、病院、民間団体等。

【参考】

NO.	指標の内容	指標の対象	実績値					出典(調査名等)
			R6	R7	R8	R9	R10	
11	不登校児童生徒の出現率	児童(小1~小6)	2%	2%				各 長期欠席児童生徒月例学校報告書(指)
		中学校(中1~中3)	6%	5%				各 長期欠席児童生徒月例学校報告書(指)

▶ 施策 21 夜間中学の教育的支援と教育活動の充実

夜間中学とは、市町村や都道府県が設置する中学校において、夜の時間帯等に授業が行われる公立中学校のことをいいます。

様々な理由により義務教育を受けられなかった方などに対し、義務教育を実質的に保障するため、すべての都道府県・指定都市に少なくとも1つは夜間中学が設置されるよう求められています。

市川市では、昭和57年4月より、夜間中学を設置しています。教育機会確保のため、夜間中学の教育的支援と教育活動の充実を図ります。

施策の評価	順 調
-------	-----

《評 点》

事業の評価	成果指標の評価	施策の評価
良 好 1項目 要 検 討 0項目	達 成 2項目 未 達 成 0項目	順 調
5 点 1/1(100%)	5 点 2/2(100%)	10 点

評価に対する留意事項

評価の結果は、施策の実現に向けて順調に進捗しています。

令和8年度は、夜間中学の教育活動の充実に向け、制度周知を図るとともに、きめ細かな学習を推進する必要があります。

《評価の詳細》

【事業(活動指標)の評価】

事業名 : 地域における夜間中学の維持			
活動指標	目標	R7実績	評価
夜間中学校の運営計画	夜間中学校の維持運営	夜間中学の維持運営	良 好
取組の実績			
制度周知を図るため、デジタルサイネージを利用し、大洲夜間中学校の募集案内を行いました。			

【方針2】目標7 多様な教育ニーズへの対応

【成果指標の評価】

NO.	指標の内容	指標の対象	実績値					第4期 目標値 (達成率)	評価	出典 (調査名等)
			R6	R7	R8	R9	R10			
45	夜間中学の卒業時における進路希望達成率	生徒 (中3)	100 %	100 %				100% (100%)	達成	各 大洲中進路 希望調査(義)
46	「中学生生活は満足できるものだった」と回答する夜間中学の生徒の割合	生徒 (中3)	100 %	100 %				100% (100%)	達成	各 学校生活調査・ 生徒アンケート (義)

▶ 施策 22 教育費負担の軽減に向けた経済的支援

教育機会の均等を確保するため、就学援助や奨学金を支給するなど、経済的に就学困難な子どもに関わる就学を援助します。

施策の評価	順 調
-------	-----

《 評 点 》

事業の評価	成果指標の評価	施策の評価
良 好 3項目 要 検 討 0項目	達 成 0項目 未 達 成 0項目 評価にはなじまない 3項目	順 調
5 点 3/3(100%)	—	5 点 ※成果指標の評点がないため、 5点満点として評価する

評価に対する留意事項

評価の結果は、施策の実現に向けて順調に進捗しています。

令和 8 年度は、支援の必要とする方へ必要な就学援助等を行うため、引き続き市公式ホームページや広報紙へ掲載を行うとともに、各家庭へのチラシ等配付により制度周知を図る必要があります。

《 評価の詳細 》

【事業(活動指標)の評価】

事業名：就学援助			
活動指標	目標	R7実績	評価
制度周知の実施	市公式ホームページ 広報紙 お知らせの配布	市公式ホームページ 広報紙 お知らせの配布	良 好
取組の実績			
制度周知のため、市公式ホームページや広報誌への掲載を行いました。また、市立小中学校の入学式や始業式に全児童生徒に対しお知らせを配付しました。			

事業名：奨学資金事業			
活動指標	目標	R7実績	評価
制度周知の実施	市公式ホームページ 広報紙 案内チラシ配布	市公式ホームページ 広報紙 案内チラシ配布	良 好
取組の実績			
制度周知のため、市公式ホームページや広報誌への掲載を行いました。また、市内の公私立中学校・高等学校及び近隣市の公立高等学校へ案内チラシを配布し、制度の周知を図りました。			

【方針2】目標7 多様な教育ニーズへの対応

事業名：入学準備金貸付事業			
活動指標	目標	R7実績	評価
制度周知の実施	市公式ホームページ 広報紙 案内チラシ配布	市公式ホームページ 広報紙 案内チラシ配布	良好
取組の実績			
制度周知のため、市公式ホームページや広報誌への掲載を行いました。また、市内の公立中学校・高等学校及び近隣市の公立高等学校へ案内チラシを配布し、制度の周知を図りました。			

【成果指標の評価】

NO.	指標の内容	指標の対象	実績値					評価	出典 (調査名等)
			R6	R7	R8	R9	R10		
47	就学援助の申請者数	児童(小6)	2,207人	2,248人				評価になじまない (申請者数及び認定者数の 相関であるため、 成果指標の評価には なじまない)	各 調査(義)
	就学援助の認定者数	生徒(中3)	2,142人	2,153人					各 調査(義)
	就学援助の認定率	児童(小6)	97%	96%					各 調査(義)

【参考】

NO.	指標の内容	指標の対象	実績値					出典 (調査名等)
			R6	R7	R8	R9	R10	
27 新規	「経済的に就学困難な子どもに対し、就学援助の制度があることを知っている」と回答する保護者の割合	保護者	—	88%				市民

▶ 施策23 教育的支援が必要な子どもへの対応と相談体制の強化

特別支援教育の視点を生かした適切な指導や必要な支援がより充実したものになるように、人員の配置、相談活動、指導力の向上などに取り組むほか、貧困、LGBTQ、ヤングケアラーなど、一人ひとりのニーズに対応したきめ細かな支援を行います。

さらに、帰国児童生徒や外国人児童生徒等、日本語指導が必要な児童生徒が海外における学習・生活体験を生かしつつ円滑に学校生活に適応できるよう、日本語指導をはじめ、生活全般に関する指導の充実を図ります。

子どもやその保護者が、安心して相談できるように、校内体制を整え、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなど、福祉や心理等の専門性をもった職員との連携を進めます。

また、相談員や教職員の研修を進め、教育相談体制の充実を図ります。

特に、いじめへの対応については、学校だけではなく行政も組織的に対応していく必要があるため、関係法令等を踏まえて体制を活用し、積極的、効果的な対応を図ります。

施策の評価	順 調
-------	-----

《評 点》

事業の評価	成果指標の評価	施策の評価
良 好 8項目 要 検 討 0項目	達 成 4項目 未 達 成 0項目 評価になじまない 1項目	順 調
5点 8/8(100%)	5点 4/4(100%)	10点

評価に対する留意事項

評価の結果は、施策の実現に向けて順調に進捗しています。

令和8年度は、多様性を包摂する学校教育を実現するため、通訳派遣により日本語指導を充実するとともに、校内・校外教育支援センター等にて児童生徒や保護者が相談したいときに相談できる体制を整える必要があります。

《評価の詳細》

【事業(活動指標)の評価】

事業名：ライフカウンセラー設置事業			
活動指標	目標	R7実績	評価
ライフカウンセラーを派遣した学校数〈再掲〉	16校	16校	良 好
取組の実績			
中学校・義務教育学校全校にライフカウンセラーを配置し、生徒、保護者の相談に応じ、適切な支援を行いました。			

事業名：少年相談事業			
活動指標	目標	R7実績	評価
相談希望者への対応率	100%	100%	良 好
取組の実績			
年間466件の相談が寄せられました。寄せられた相談に対して、電話、メール、面談で対応しました。			

【方針2】目標7 多様な教育ニーズへの対応

事業名：教職員等研修事業			
活動指標	目標	R7実績	評価
研修会への参加人数	150人	200人	良好
取組の実績			
ユニバーサルな学級経営と授業づくりについての研修を実施しました。若年層だけでなくベテラン層の参加も促し、授業の質の向上を図りました。			

事業名：少年補導活動事業			
活動指標	目標	R7実績	評価
パトロールの実施回数	430回	422回	良好
取組の実績			
パトロールを実施することで、不審者遭遇の未然防止とともに、児童生徒の非行防止や健全育成を促しました。			

事業名：教育支援センター運営事業			
活動指標	目標	R7実績	評価
保護者面談の年間実施回数	3回	3回	良好
取組の実績			
「サポートルームふれんど市川」に通室する児童生徒が、支援員に不安や困り感を相談できる時間を確保しました。個別の面談や保護者会等により、児童生徒と保護者に寄り添い、支えるための助言を行いました。			

事業名：小学校等児童生徒支援訪問			
活動指標	目標	R7実績	評価
希望する学校への訪問実施率	100%	100%	良好
取組の実績			
小学校13校、義務教育学校1校に延べ90回ライフカウンセラーを派遣し、児童及び保護者に対する支援を行いました。			

事業名：教育相談事業			
活動指標	目標	R7実績	評価
研修会の実施回数	7回	7回	良好
取組の実績			
個々のケースに合わせた教育相談を行いました。また、相談員の研修会として事例検討会(スーパービジョン)を実施することで、相談員のスキルアップを図りました。			

事業名：外国人子女等適応支援事業			
活動指標	目標	R7実績	評価
希望する学校への派遣実施率	100%	100%	良好
取組の実績			
小学校32校、中学校13校、義務教育学校、特別支援学校、幼稚園1園へ延べ21人の講師を派遣し、児童生徒及び保護者に対する支援を行いました。			

【方針2】目標7 多様な教育ニーズへの対応

【成果指標の評価】

NO.	指標の内容	指標の対象	実績値					第4期 目標値 (達成率)	評価	出典 (調査名等)
			R6	R7	R8	R9	R10			
48	日本語通訳派遣回数 の割合 (総派遣回数/対象 児童生徒数)	児童生徒	3.6回 (900回 /251人)	3.4回 (880回 /258人)				評価になじまない  (対象児童生徒に対する派遣 割合は100%であり、成果指 標の評価にはなじまない。)	各 調査(指)	
49	「困ったこと があった時に 相談できる先 生がいる」と 回答する児童 生徒の割合	児童 (小5~小6)	74%	73%				80% (91%)	達成	保
		生徒 (中1~中3)	72%	78%				80% (98%)	達成	保
50	いじめの 解消率	児童 (小1~小6)	79%	75%				75% (100%)	達成	各児童生徒の 問題行動・不登校 等生徒指導上の 諸課題に関する 調査(指)
		生徒 (中1~中3)	81%	72%				75% (96%)	達成	各児童生徒の 問題行動・不登校 等生徒指導上の 諸課題に関する 調査(指)



▶ 施策24 放課後の子どもの居場所づくりの推進

子どもが安心して過ごすことができるように、地域と連携して子どもの活動拠点を設け、健全な育成を図ります。  
また、放課後や夏休みなどの長期休業中の居場所の質と量の充実を図ります。

施策の評価	概ね順調
-------	------

《 評 点 》

事業の評価	成果指標の評価	施策の評価
良 好 1項目 要 検 討 1項目	達 成 2項目 未 達 成 0項目	概ね順調
2点 1/2(100%)	5点 2/2(100%)	7点

評価に対する留意事項

評価の結果は、施策の実現に向けて概ね順調に進捗しています。  
令和8年度は、子どもが安心して過ごせる居場所づくりに向け、スタッフの研修等により、すべての子どもが多様な体験・活動を行うことができる環境づくりとともに、放課後保育クラブとこども教室の体制を整える必要があります。

《 評価の詳細 》

【事業(活動指標)の評価】

事業名：放課後保育クラブ※1			
活動指標	目標	R7実績	評価
設置計画	135部屋	135部屋	良 好
取組の実績			
待機児童解消に向けて2クラス増設し、児童の放課後の居場所確保を図りました。次年度も、待機児童解消に向けて、クラス増設するための調整を行います。			

注1：放課後保育クラブ…保護者が就労などにより昼間家庭にいない小学校に就学している児童の授業終了後などにおける遊び及び生活の場。

事業名：子どもの居場所づくり事業			
活動指標	目標	R7実績	評価
放課後子ども教室※2スタッフへの研修実施回数	1回	0回	要検討
取組の実績			
放課後子ども教室の利用者が前年度に比べ全体的に増えたこと等による業務量の増加により、研修会を開催することができませんでした。次年度は、業務量の増加を見越し、計画的に準備を進めていきます。			

注2：放課後子ども教室…市立小学校の空き教室等を使用して、子どもたちへ安全安心な居場所を提供するとともに、工作や外遊び、体験活動等、様々な活動を実施する事業。

【方針2】目標7 多様な教育ニーズへの対応

【成果指標の評価】

NO.	指標の内容	指標の対象	実績値					第4期 目標値 (達成率)	評価	出典 (調査名等)
			R6	R7	R8	R9	R10			
51	放課後保育クラブの利用者満足度	利用保護者	99%	99%				100% (99%)	達成	各 保護者向け アンケート (学地)
52	放課後子ども教室の運営等 (開室時間、出欠管理等)に 対する満足度	利用保護者	94%	93%				100% (93%)	達成	各 保護者向け アンケート (学地)

【参考】

NO.	指標の内容	指標の対象	実績値					出典 (調査名等)
			R6	R7	R8	R9	R10	
12	放課後保育クラブの入所希望児童数に対する入所児童数の割合	入所希望者	100%	100%				各 調査(学地)
13	放課後子ども教室の 登録者数	登録した 児童	12,043 人	13,477 人				各 運営報告書及び 登録者データ (学地)
	放課後子ども教室の 入所者数(延べ人数)	登録した 児童	190,374 人	247,082 人				各 運営報告書及び 登録者データ (学地)

▶ 施策 25 家庭の教育力の向上

家庭・学校・地域の連携を強化し、基本的な生活習慣、豊かな情操、他人に対する思いやりや善悪の判断などを家庭で身に付ける重要性の啓発に取り組みます。  
また、家庭学習の習慣化を図るため、学校と連携した取組を進めます。  
さらに、家族の関わりを深めるための取組を支援します。

施策の評価	順 調
-------	-----

《評 点》

事業の評価	成果指標の評価	施策の評価
良 好 1項目 要 検 討 0項目	達 成 2項目 未 達 成 1項目	順 調
5 点 1/1(100%)	3 点 2/3(67%)	8 点

評価に対する留意事項

評価の結果は、施策の実現に向けて順調に進捗しています。  
令和8年度は、家庭の教育力の一層の向上を促すため、家庭・学校・地域で目指す子どもの姿を共有し、コミュニティ・スクールの取組等による連携強化を図る必要があります。

《評価の詳細》

【事業(活動指標)の評価】

事業名 : 家庭教育学級運営事業			
活動指標	目標	R7実績	評価
就学時健診ミニ講座の実施学校数	10回	11回	良 好
取組の実績			
就学時健康診断時に家庭教育指導員講座を行い、家庭教育力向上を図りました。子育てや子どもとの関わり方に対する保護者の意識向上につながりました。			

【方針3】目標8 家庭・学校・地域の連携と協働の推進

【成果指標の評価】

NO.	指標の内容	指標の対象	実績値					第4期 目標値 (達成率)	評価	出典 (調査名 等)
			R6	R7	R8	R9	R10			
53	「コミュニティ・スクールや地域学校協働活動等の取組によって、学校と地域や保護者の相互理解が深まった」と回答する学校の割合	小学校	95%	97%				100% (97%)	達成	学
		中学校	100%	88%				100% (86%)	未達成	学
54	「学校が目指す『子どもの姿』を知っている」と回答する保護者の割合	保護者	59%	72%				75% (96%)	達成	市民

【参考】

NO.	指標の内容	指標の対象	実績値					出典 (調査名等)	
			R6	R7	R8	R9	R10		
28 新規	「お子さんに、基本的な生活習慣、豊かな情操、他人に対する思いやり、善悪の判断が身に付くよう関わっている」と回答する保護者の割合	保護者	—	95%					市民

▶ 施策26 地域の教育力の向上と地域の教育資源の活用の推進

家庭・学校・地域の様々な活動を支援する地域学校協働活動推進員の育成を充実させます。

子どもに必要な資質・能力を確実に育成するため、教職員が地域と関わりを持ったり、地域が教育に主体的に関与することができたりする取組を進めます。

地域住民等の協力や校庭の利用など、地域や学校の多様な教育資源を効果的に活用し、学習支援やスポーツに親しむ機会の充実を図ります。

とりわけ、今後については、子どものスポーツに親しむ機会の充実や、教職員の働き方改革の観点からも、関係部署・関係機関と連携して地域の教育資源を活用しながら、部活動の地域展開を進めます。

施策の評価	やや遅れあり
-------	--------

《 評 点 》

事業の評価	成果指標の評価	施策の評価
良 好 3項目 要 検 討 1項目	達 成 7項目 未 達 成 6項目	やや遅れあり
3点 3/4(75%)	2点 7/13(54%)	5点

評価に対する留意事項

評価の結果は、施策の実現に向けてやや遅れがあります。

令和8年度は、地域の教育資源の活用により子どもに必要な資質・能力を育成するため、地域学校協働活動推進員の活動を充実するとともに、関係部署・関係機関との連携を推進する必要があります。

《 評価の詳細 》

【事業(活動指標)の評価】

事業名：コミュニティ・スクール推進事業			
活動指標	目標	R7実績	評価
統括的な地域学校協働活動推進員の配置しているブロック数	13ブロック	13ブロック	
取組の実績			
統括的な地域学校協働活動推進員がブロック内の推進員と連携をし、地域との調整やボランティアの募集や他ブロックとの連携を行うことで、コミュニティ・スクールを推進しました。			良 好

事業名：校内塾・まなびくらぶ <sup>注1</sup> 事業			
活動指標	目標	R7実績	評価
まなびくらぶを実施した学校数	24校	17校	
取組の実績			
小学校5校、中学校11校、義務教育学校1校へ、延べ48人のまなびサポーターを派遣し、児童生徒の学習に対する意識の向上と学力の底上げを行いました。			要検討

注1：校内塾・まなびくらぶ…市内全小中学校にて児童生徒が平日の放課後や長期休業中に主に算数・数学を自主的に学習する。

事業名：学校施設開放事業			
活動指標	目標	R7実績	評価
運営方法や管理体制の計画	・使用申請の電子化 ・支払方法の追加(オンライン・銀行振込) ・遵守事項の見直し団体登録の 審査内容の整理	・使用申請の電子化 ・支払方法の追加(オンライン・銀行振込) ・遵守事項の見直し団体登録の 審査内容の整理	良好
取組の実績			
使用申請及び支払方法の電子化を行い、利用者の利便性の向上を図りました。また、登録団体宛ての遵守事項の見直し等を行い、学校施設開放の改善を図りました。			

事業名：部活動の地域展開			
活動指標	目標	R7実績	評価
運動部活動の地域展開に向けた地域クラブの指導者数	35人 (令和7年9月～令和8年8月)	35人(見込み) (令和7年9月～令和8年8月)	良好
取組の実績			
各関係団体と協力し、地域クラブ化を希望する部活動へ指導者の派遣を行いました。			

【成果指標の評価】

NO.	指標の内容	指標の対象	実績値					第4期目標値(達成率)	評価	出典(調査名等)
			R6	R7	R8	R9	R10			
53	「コミュニティ・スクールや地域学校協働活動等の取組によって、学校と地域や保護者の相互理解が深まった」と回答する学校の割合	小学校	95%	97%				100% (97%)	達成	学
		中学校	100%	88%				100% (86%)	未達成	学
55	「保護者や地域の方が学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営などの活動に参加している」と回答する学校の割合	小学校	100%	100%				100% (100%)	達成	各独自アンケート(政)
		中学校	93%	100%				100% (100%)	達成	各独自アンケート(政)
38	「指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせている」と回答する学校の割合	小学校	95%	95%				100% (95%)	達成	学
		中学校	100%	100%				100% (100%)	達成	学
56	「学校は、保護者や地域の方々と共に子どもを育てる取組を進めていると思う」と回答する保護者の割合	保護者(小)	87%	87%				90% (97%)	達成	保
		保護者(中)	78%	79%				85% (93%)	達成	保
57	「地域学校協働活動推進員がどのような活動をしているかを知っている」と回答する教職員の割合	教職員(小)	35%	33%				60% (55%)	未達成	各独自アンケート(政)
		教職員(中)	27%	24%				60% (40%)	未達成	各独自アンケート(政)
		教職員(義)	19%	22%				60% (37%)	未達成	各独自アンケート(総)
		教職員(特)	8%	18%				60% (30%)	未達成	各独自アンケート(政)
		教職員(幼)	86%	70%				80% (88%)	未達成	各独自アンケート(政)

【方針3】目標8 家庭・学校・地域の連携と協働の推進

【参考】

NO	指標の内容	指標の対象	実績値					出典 (調査名等)
			R6	R7	R8	R9	R10	
14	地域学校協働活動推進員が学校へ派遣したボランティアの人数	ボランティア	4,600 人	5,042 人				☒地域学校協働活動年間活動報告書(学地)
15	コミュニティクラブ参加人数 (ボランティア・児童生徒・大人)	ボランティア	6,765 人	6,835 人				☒事業活動報告書(学地)
		児童生徒	32,365 人	27,125 人				☒事業活動報告書(学地)
		大人	8,492 人	10,159 人				☒事業活動報告書(学地)



▶ 施策27 生涯学び、活躍できる環境の整備

より多くの人が集い、活力ある地域のコミュニティ形成にも寄与できるよう、公民館についての在り方を検討するとともに、「学びの場」である学校や社会教育施設を核とし、生涯学習の推進を図ります。

あわせて、ボランティアや指導者の発掘・育成を進めます。

施策の評価	順 調
-------	-----

《 評 点 》

事業の評価	成果指標の評価	施策の評価
良 好 7項目 要 検 討 1項目	達 成 1項目 未 達 成 0項目 評 価 な し 1項目	順 調
4 点 7/8(88%)	5 点 1/1(100%)	9 点

評価に対する留意事項

評価の結果は、施策の実現に向けて順調に進捗しています。

令和8年度は、市民への生涯学習の推進に向け、学生ボランティアの更なる発掘・育成とともに、公民館や図書館、博物館等、各社会教育施設の活用により社会教育活動の充実を図る必要があります。

《 評価の詳細 》

【事業(活動指標)の評価】

事業名：公民館主催講座活動事業			
活動指標	目標	R7実績	評価
講座の実施数〈再掲〉	200講座	204講座	良 好
取組の実績			
公民館の創意工夫により、地域や学校と連携して多様な講座を実施し、市民に学びの機会を提供しました。また、主催講座から公民館サークルが発足するなど、市民による継続的な学習につながりました。			
事業名：いちかわ市民アカデミー講座			
活動指標	目標	R7実績	評価
講座への参加者数	400人	330人	要 検 討
取組の実績			
参加者数の目標には至りませんでした。同一料金で複数の大学の講座を受講可能にしたことにより、昨年度に比べて増加しました。			
事業名：図書館運営事業			
活動指標	目標	R7実績	評価
図書館の利用者数	1,444,000人	1,392,926人	良 好
取組の実績			
自動車図書館を1台増車することで、図書館空白地域への図書館サービスを展開しました。			

【方針3】目標9 生涯にわたる学びの推進

事業名：博物館展示・教育普及事業			
活動指標	目標	R7実績	評価
市立博物館の入館者数〈再掲〉	157,000人	141,979人	良好
取組の実績			
自然博物館はLED照明改修工事により、約2か月の休館期間がありましたが、博物館全体としては概ね目標を達成しました。また、ボランティアの方々や友の会と連携し、博物館資料の普及活動を進めました。			

事業名：特別支援学校との連携			
活動指標	目標	R7実績	評価
特別支援学校の参加した講座数	1講座	1講座	良好
取組の実績			
柏井公民館において、特別支援学校の生徒が参加した講座を実施しました。地域の方々と特別支援学校の生徒との交流を図るとともに、キャリア教育の実践を行うことにもつながりました。			

事業名：公民館の活用			
活動指標	目標	R7実績	評価
公民館事業の実施率	30事業	34事業	良好
取組の実績			
各館で活動するサークルの発表の場として文化祭を開催したほか、地域の学校・幼稚園・保育園・自治会や住民等との共催・協働により、作品展示、花植え、星空観望会、リサイクルブック市など多様な事業を展開しました。また、小学校～大学生を対象とする学習スペースを2館に設置し、若年層の利用拡大を図りました。			

事業名：青少年指導者育成事業(ユースリーダー講習会 <sup>注1</sup> )			
活動指標	目標	R7実績	評価
講習会の受講者数	50人	50人	良好
取組の実績			
青少年指導者として地域で活躍するための必要な知識を身に付け、技術を獲得するために、6回の講習会を実施し、指導者の育成を図りました。			

注1：ユースリーダー講習会…中学生から高校生までの異年齢が、グループワークや集団活動を通して、物事や人の意見をまとめる力や、自分の役割を認識し主体的に行動できるようにする力を習得する講習会。

事業名：コミュニティクラブ事業			
活動指標	目標	R7実績	評価
ボランティアの総数	6,900人	6,835人	良好
取組の実績			
地域の担い手となるボランティアを発掘・育成し、各地域ブロックで様々な活動を展開することを通して、地域コミュニティの活性化を図りました。			

【成果指標の評価】

NO.	指標の内容	指標の対象	実績値					第4期 目標値 (達成率)	評価	出典 (調査名等)
			R6	R7	R8	R9	R10			
58	「地域には学ぶ場と機会(文化活動やスポーツ活動を含む)が十分にある」と回答する人の割合	市民	34%	47%				38% (124%)	達成	市民
59	「生涯学習に関する情報提供がある」と回答する障がい者の割合	市民	46%	— 調査なし (隔年度 調査)				54% (—)	評価 なし	生涯学習 アンケート (生)

▶ 施策28 図書館機能を活用した学習活動の充実

図書館の持つ資料や情報を、居住地や障がいの有無などに関わらず容易に入手でき、学習に生かせる、誰もが利用しやすい図書館を推進するため、デジタルを含む資料の収集強化、貸出や返却の利便性向上、レファレンス機能の拡充、読書バリアフリーの推進など各種サービスの充実を図るとともに、図書館ネットワークのさらなる構築を進めます。

また、地元市川について学び、市川への理解と愛着を深める機会の拡充を図るため、積極的な地域資料の収集と、地域情報の発信を進めます。

施策の評価	順 調
-------	-----

《 評 点 》

事業の評価	成果指標の評価	施策の評価
良 好 2項目 要 検 討 0項目	達 成 2項目 未 達 成 0項目	順 調
5 点 2/2(100%)	5 点 2/2(100%)	10 点

評価に対する留意事項

評価の結果は、施策の実現に向けて概ね順調に進捗しています。

令和8年度は、誰もが利用しやすい図書館の推進に向け、アクセシブルな書籍・電子書籍の整備提供等、読書バリアフリーをはじめとする各種サービスを充実する必要があります。

《 評価の詳細 》

【事業(活動指標)の評価】

事業名：図書等整備事業			
活動指標	目標	R7実績	評価
市川市図書館資料収集計画	各図書館の収集基準に応じた資料収集	計画通りの資料収集実施	良 好
取組の実績			
資料収集計画に基づき、各館の基準に応じて適切に資料の収集を行いました。今後も市民の要望に応えられるよう資料の充実に努めます。			

事業名：図書館運営事業			
活動指標	目標	R7実績	評価
「市川市立図書館運営基本計画」の策定計画	策定	部分改訂	良 好
取組の実績			
令和8年度に文部科学省「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」の改訂が見込まれることから、令和7年度(令和8年度～施行)は実施計画部分のみ小幅な部分改訂に留めました。令和10年度に「望ましい基準」の内容を考慮した上で次期計画の策定を行います。 また、自動車図書館を1台増車し、図書館空白地域への図書館サービスを展開することで、利用者の利便性の向上を図りました。			

【方針3】目標9 生涯にわたる学びの推進

【成果指標の評価】

NO.	指標の内容	指標の対象	実績値					第4期 目標値 (達成率)	評価	出典 (調査名等)
			R6	R7	R8	R9	R10			
60	「探していた情報や知識を得ることができた」と回答する図書館利用者の割合	市民	91%	95%				92% (103%)	達成	各 図書館 アンケート (図)
61	「本の探し方や、知識・情報の調べ方が分かった」と回答する図書館利用者の割合	市民	77%	99%				82% (121%)	達成	各 図書館 アンケート (図)

▶ **施策 29 博物館などの活用を通じた学習活動の推進**

博物館の持つ様々な機能を活用し、体験活動の充実や、講師派遣などの教育普及サービスを生かした学習活動を進めます。

また、子どもから高齢者までの学習活動を支援するため、博物館以外の社会教育施設や学校との連携を図ります。

施策の評価	概ね順調
-------	------

《 評 点 》

事業の評価	成果指標の評価	施策の評価
良 好 4項目 要 検 討 0項目	達 成 1項目 未 達 成 1項目	概ね順調
5点 4/4(100%)	2点 1/2(50%)	7点

**評価に対する留意事項**

評価の結果は、施策の実現に向けて概ね順調に進捗しています。

令和8年度は、博物館を活用した更なる学習活動の推進に向け、博物館の企画展の実施とともに、教育への普及活動を図る必要があります。

《 評価の詳細 》

【事業(活動指標)の評価】

事業名：博物館保管研究事業			
活動指標	目標	R7実績	評価
國學院大学の協力に基づく博物館資料の整理回数	10日	9日	良 好
取組の実績			
令和6年度より試行していた國學院大学の協力による民俗資料に関する博物館の資料の整理作業を計9日間行いました。また11月には今後の継続的な事業展開のため、教育委員会と国学院大学との間で正式に協定を締結しました。			

事業名：博物館展示・教育普及事業			
活動指標	目標	R7実績	評価
市立博物館の入館者数〈再掲〉	157,000人	141,979人	良 好
取組の実績			
自然博物館はLED照明改修工事により、約2か月の休館期間がありましたが、博物館全体としては概ね目標を達成しました。また、ボランティアの方々や友の会と連携し、博物館資料の普及活動を進めました。			

【方針3】目標9 生涯にわたる学びの推進

事業名：博物館の体験学習を支援するボランティアの養成			
活動指標	目標	R7実績	評価
養成講座の実施回数	17回	29回	良好
取組の実績			
ボランティアの養成講座を実施し、体験学習や資料整理など博物館事業を理解する意見交換の場とすることで、ボランティア活動者の育成を図りました。			

事業名：博物館企画展事業			
活動指標	目標	R7実績	評価
企画展の見学人数	30,000人	31,972人	良好
取組の実績			
博物館の小企画展として、以下の事業を実施しました。 ○堀之内・曾谷・姥山～パネルで学ぶ国指定史跡の三貝塚～ ○鬼高遺跡の宝もの-千葉県指定有形文化財登録記念 ○発見・体験 昔の暮らし ○全力男子 ○ちょっと怖い絵展 ○戦後を生きる～引き揚げと闇市の記憶～ ○第2回収蔵庫整理事業報告展示 見つめなおす市川の宝物 ○本山桂川と閑話叢書 刊行から100年展			

【成果指標の評価】

NO	指標の内容	指標の対象	実績値					第4期 目標値 (達成率)	評価	出典 (調査名等)
			R6	R7	R8	R9	R10			
62	博物館の講座参加率 (申込者数/定員)	市民	113%	82%				100% (82%)	未達成	各 定員に対する 講座応募率 (文)
63	博物館の講座参加者の満足度	市民	93%	93%				80% (116%)	達成	各 参加者アンケート(文)

▶ 施策30 公民館の活用の推進

地域の身近な学習拠点として、公民館に対する各地域のニーズや実態を把握し、公民館の持つ機能の有効活用を図るとともに、学校や地域の人材を活用し連携することにより、地域に密着した公民館運営を進めます。

施策の評価	順 調
-------	-----

《評 点》

事業の評価	成果指標の評価	施策の評価
良 好 2項目 要 検 討 0項目	達 成 2項目 未 達 成 1項目	順 調
5 点 2/2(100%)	3 点 2/3(67%)	8 点

評価に対する留意事項

評価の結果は、施策の実現に向けて順調に進捗しています。

令和8年度は、公民館の持つ機能の有効活用を図るため、公民館の主催講座の創意工夫を図るなど地域のニーズや実態に即した運営を行う必要があります。

《評価の詳細》

【事業(活動指標)の評価】

事業名：公民館主催講座活動事業			
活動指標	目標	R7実績	評価
講座の実施数〈再掲〉	200 講座	204 講座	良 好
取組の実績			
公民館の創意工夫により、知識・教養や健康づくり講座のほか、防災や金融リテラシー、子どもを対象にした調理実習の講座など、多彩なテーマの講座を実施しました。			

事業名：公民館の活用			
活動指標	目標	R7実績	評価
公民館事業の実施数〈再掲〉	30 事業	34 事業	良 好
取組の実績			
各館で活動するサークルの発表の場として文化祭を開催したほか、地域の学校・幼稚園・保育園・自治会や住民等との共催・協働により、作品展示、花植え、星空観望会、リサイクルブック市など多様な事業を展開しました。また、小学校～大学生を対象とする学習スペースを2館に設置し、若年層の利用拡大を図りました。			

【方針3】目標9 生涯にわたる学びの推進

【成果指標の評価】

NO	指標の内容	指標の対象	実績値					第4期 目標値 (達成率)	評価	出典 (調査名等)
			R6	R7	R8	R9	R10			
64	公民館主催講座のうち、「学校・地域との連携」を念頭に実施されたものの割合	市民	36%	41%				40% (104%)	達成	各公民館への調査(生)
65	公民館(部屋)の利用率	市民	26%	26%				30% (87%)	未達成	各公民館への調査(生)
66	公民館主催講座の受講者の満足度	市民	97%	99%				100% (99%)	達成	受講者アンケート(生)

▶ 施策31 文化財の保護・活用と調査の推進

市内に残る貴重な文化財を未来の市民に継承するため、市川市文化財指定基準に基づき、自然・風土・歴史・文化的遺産の保護を図ります。

そして、市川市の自然・風土・歴史・文化的遺産や発掘調査の結果を貴重な学習資源と捉え、学校の体験学習や生涯学習など、幅広い教育活動に活用します。

また、市内には数多くの埋蔵文化財包蔵地があることから、開発行為等を通じた発掘調査を数多く実施しているなか、特に、下総国の国府が置かれていた国府台遺跡では、国庁や国衙の遺構を確認する調査を進めます。

施策の評価	概ね順調
-------	------

《 評 点 》

事業の評価	成果指標の評価	施策の評価
良 好 5項目 要 検 討 0項目	達 成 1項目 未 達 成 1項目	概ね順調
5点 5/5(100%)	2点 1/2(50%)	7点

評価に対する留意事項

評価の結果は、施策の実現に向けて概ね順調に進捗しています。

令和8年度は、市川市の貴重な文化財を地域で活かし、次世代へ確実に伝えるため、学校巡回展等博物館の活用を図るとともに、計画に基づき史跡整備に向けた取組を推進する必要があります。

《 評価の詳細 》

【事業(活動指標)の評価】

事業名：指定文化財維持管理費補助金事業			
活動指標	目標	R7実績	評価
文化財所有者等に対する補助金の交付件数	25件	25件	良 好
取組の実績			
目標通り交付することで、指定文化財の維持管理の助成を図りました。			

事業名：史跡公有化事業及び史跡維持管理事業			
活動指標	目標	R7実績	評価
史跡の公有化率	曾谷貝塚 79% 下総国分寺跡 71%	曾谷貝塚 79% 下総国分寺跡 71%	良 好
取組の実績			
今年度は、史跡の買上げがなかったため、面積に増減はありませんでしたが、次年度以降の公有化に向けて準備を進めました。			

【方針3】目標10 文化財の保護・活用と調査

事業名：史跡整備保存事業			
活動指標	目標	R7実績	評価
計画策定の進捗率	100%	100% (国指定史跡下総国分寺跡附北下瓦窯跡整備基本計画策定、 国指定史跡曾谷貝塚保存活用計画策定)	良好
取組の実績			
学術経験者や地元の代表からなる検討会を4回開催すること等により、内容を作成し、パブリックコメントの実施等を踏まえて、3月末に各計画を策定しました。			

事業名：博物館の活用の推進(文化財を活用した博物館事業)			
活動指標	目標	R7実績	評価
外部サービス(館外利用)の参加人数	10,000人	10,063人	良好
取組の実績			
学校巡回展や小学校出張授業、公民館講座を開催した他、曾谷縄文祭りや全国国府サミット等で資料の活用を図りました。			

事業名：埋蔵文化財調査事業(下総国府調査)			
活動指標	目標	R7実績	評価
下総国府に関する国府台遺跡発掘調査の進捗率	31.10%	31.10%	良好
取組の実績			
下総国府に関連して調査が必要かつ可能な箇所(172,000㎡)のうち、国府台公園の一部(500㎡)を発掘調査しました。(進捗率:令和6年度 30.95%⇒31.10%)			

【成果指標の評価】

NO.	指標の内容	指標の対象	実績値					第4期 目標値 (達成率)	評価	出典 (調査名等)
			R6	R7	R8	R9	R10			
67	「市川市には古代の下総国における政治・文化の中心となる国府があったことを知っている」と回答する人の割合	市民	—	79%				81% (98%)	達成	各 調査(文)
68	文化財資料の延べ利用者数	市民	8,043人	5,840人				8,000人 (73%)	未達成	各 調査(文)

【参考】

NO.	指標の内容	指標の対象	実績値					出典 (調査名等)
			R6	R7	R8	R9	R10	
29 新規	「市川市の文化財を生かした取組に満足して言える」と回答する市民の割合	市民	—	70%				各 独自アンケート(政)